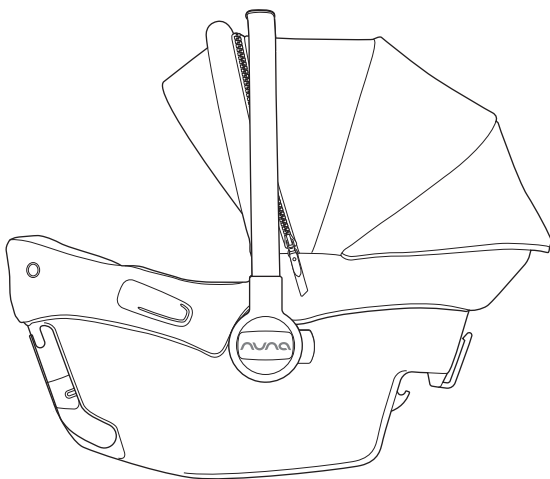


pipa™ urbn

取扱説明書 / 保証書



2304(00)

nuna®

重要！

本取扱説明書は、必要なときにいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

本取扱説明書を熟読して、内容を理解した上で本製品をご使用ください。



必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとして使用することができるベビーシートです。

本製品は、最新の安全基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品を使用するため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解した上で本製品を使用してください。

本取扱説明書は、大切に保管して必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

もくじ

はじめにお読みください	4	インナークッション	44
ユーザー登録のお願い	4	ヘッドサポート	45
nunababy.com	4	キャリアハンドル	46
チャイルドシートについて	5	キャンपीー	47
本製品の重要な情報	6	使いかた	47
適合車種一覧	7	エクストラキャンピー (Dream drape™)	48
表記の説明	8	ISOFIX による固定	50
本取扱説明書で使用するイラストについて	9	取り付けかた	50
その他の表記について	9	取り外しかた	58
使用可能なお子さまの範囲	9	3 点式シートベルトによる固定	60
最初にご確認ください	11	ISOFIX + 3 点式シートベルトによる固定	70
内容物の確認	11	取り付けかた	70
各部の名称	12	取り外しかた	77
自動車に関わる各部の名称	13	お子さまの乗せかた	80
インファントインサートの使用	14	その他の使いかた	84
自動車の座席への取り付けに関して	15	準備	84
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	15	ベビーキャリアとして使用する	85
本製品を取り付けできない座席	16	ロッキング・チェアとして使用する	87
3 点式シートベルトを固定に使用する場合	19	ベビーカー用のシートとして使用する	89
取扱説明書の携行	20	お手入れのしかた	90
使用上の注意	21	カバー類の取り外し、取り付け	90
緊急時の操作	33	キャンピー	91
キャンピーの取り付け・取り外し	34	インファントインサート	91
取り付けかた	34	肩ベルトパッド	91
取り外しかた	36	股ベルトパッド	92
基本的な使いかた	39	シートカバー	92
バックルの使いかた	39	お手入れの方法	98
バックルの外しかた	39	カバー類	98
バックルの留めかた	40	キャンピー・インナークッション	99
ハーネスの長さ調節	41	本体 (ISOFIX コネクタ部を除く)	100
ゆるめかた	41	ハーネス・ベルト類・受ガックル・差込みタンブ	101
締めかた	42	保管のしかた	101
インファントインサート	43	廃棄のしかた	101
取り外しかた	43	保証書	102

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準の ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

同梱の「ユーザー登録はがき」または、下記の弊社ホームページよりご登録ください。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

<https://www.katoji.co.jp/childseat.html>



[nunababy.com](https://www.nunababy.com)

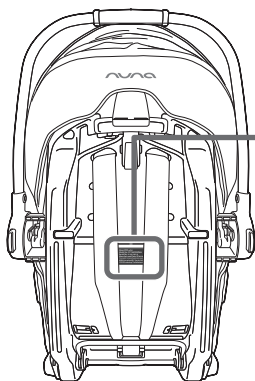
info@nunababy.com
www.nunababy.com

NUNA への製品の登録について

www.nunababy.com より nuna への製品登録が可能ですが、現在、日本語での表記はございません。

日本国内においては、輸入販売元の株式会社カトージにおいて、ユーザー登録、保証サービス、サポートを行っておりますので、上記 URL からご登録いただくか、同梱のユーザー登録はがきによりご登録をお願いします。

ユーザー登録に必要な情報は、本製品の底面に記載されています。



Model No. (モデルナンバー)
Serial No. (シリアル番号)
Manufactured Date (製造年月日)

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進、急停止、急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまの身体がチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しく使用してください。

また、**どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、チャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。**

本製品の重要な情報

● ISOFIX 固定バーに取り付けて使用するチャイルドシートです

- 1 本製品は、一体型スペシフィックヴィークル ISOFIX チャイルドシートです。
適合車種一覧 (P.7) において使用可能と記載されている車両、座席に取り付けて使用することができます。
- 2 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。あわせてご参照ください。

●自動車の座席の3点式シートベルトで固定して使用するチャイルドシートです

- 1 本製品は、汎用3点式シートベルト固定式チャイルドシートです。
本製品が適合する基準の UN Regulation No.129 において、自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シート・ポジション」であると指定されている座席に取り付けて使用することができることが承認されています。
- 2 本製品を汎用3点式シートベルト固定式チャイルドシートとして使用する場合は、ISOFIX 固定バーを使用しないでください。ISOFIX による追加固定は適合車種一覧において確認が取れている場合に限りです。
- 3 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、買い求めになった販売店にお問い合わせください。あわせてご参照ください。

● ISOFIX + 3点式シートベルトで固定して使用するチャイルドシートです

- 1 本製品は、スペシフィックヴィークルベルト固定チャイルドシートです。
適合車種一覧 (P.7) において使用可能と記載されている車両、座席に取り付けて使用することができます。
- 2 ご不明な点については、チャイルドシートのメーカーまたは保証書欄に記載のお問い合わせ先、買い求めになった販売店にお問い合わせください。あわせてご参照ください。

適合車種一覧

以下のホームページに掲載の適合車種一覧において、本製品を取り付けて使用できる車両の情報が記載されています。

<https://katoji.co.jp/user-carseat/index.html>



● ISOFIX を使用する場合

本製品は、i-Size 規格に適合した ISOFIX 固定装置 (ISOFIX 固定バー) の仕様に対応していますが、実際にお使いになるには適合車種一覧にて適合の確認が必要です。

● 3 点式シートベルトのみを使用する場合

本製品は 3 点式リトラクタブルシートベルトによってのみ固定することができます。自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。適合車種一覧をご確認ください。

● ISOFIX と 3 点式シートベルト両方を使用する場合

適合車種一覧において適合が確認されている座席でご使用ください。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意、ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品を使用されるお子さまや保護者の方、また、周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上で使用してください。



危険

この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。



警告

この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。



注意

この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表記に付随して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

本製品は、ISOFIX または 3 点式シートベルトまたは ISOFIX と 3 点式シートベルトを併用して自動車の座席に固定して使用します。本書に記載されている注意事項や操作方法は、それぞれの固定方法に準じて説明されていますが、相互に関連する内容もありますので、ご使用になる取付方法に関わらず本書をすべてご確認いただき、その内容を理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張などをおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

その他の表記について

「ポイント」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利にご使用いただくための大切な情報です。

使用可能なお子さまの範囲

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合する UN Regulation No.129/03 の基準によって定められています。

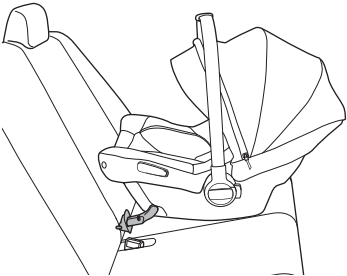

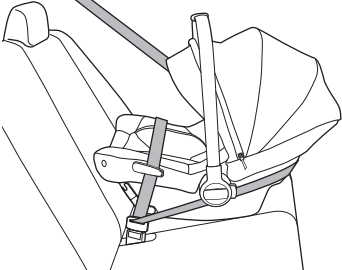

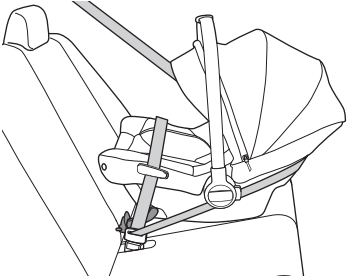

本製品は本製品の取付方法に関わらず、使用できるお子さまの範囲は同一です。

この範囲にあてはまらない、また本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は本製品を使用しないでください。

本製品は、**体重 2.5kg 以上の新生児[※]**からご使用いただけます。

※:ここでいう新生児とは、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上で出生したお子さまを指します。

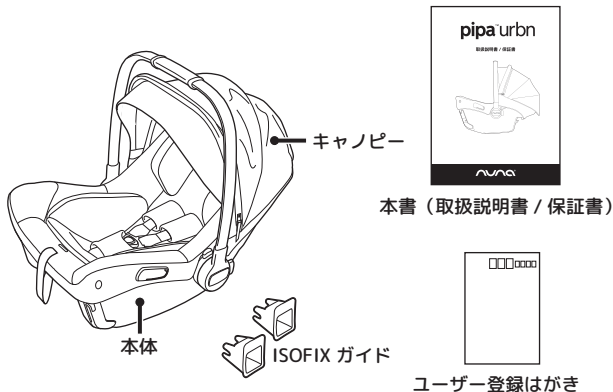
⚠危険 使用可能なお子さまの範囲に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用可能なお子さまの範囲」を遵守してください。

取付方法	使用可能なお子さまの範囲
<p>ISOFIX</p> 	<p>身長：40cm～75cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：生後 12 カ月頃まで</p> <div data-bbox="588 297 951 418" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>インファントインサート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。</p> </div>
<p>3 点式シートベルト</p> 	<p>身長：40cm～75cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：生後 12 カ月頃まで</p> <div data-bbox="588 689 951 811" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>インファントインサート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。</p> </div>
<p>ISOFIX + 3 点式シートベルト</p> 	<p>身長：40cm～75cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：生後 12 カ月頃まで</p> <div data-bbox="588 1075 951 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>インファントインサート 身長 60cm 以下のお子さまの使用を推奨します。 お子さまの成長に合わせて調節して使用します。</p> </div>

最初にご確認ください

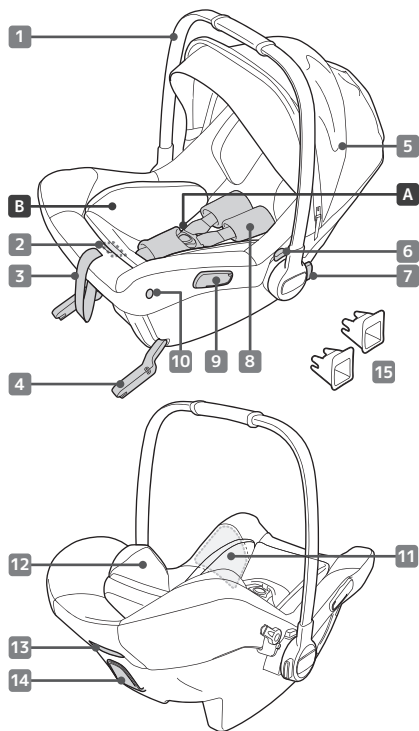
内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



注意 本製品が入っていたビニール袋などの梱包材は、本製品開梱後は直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

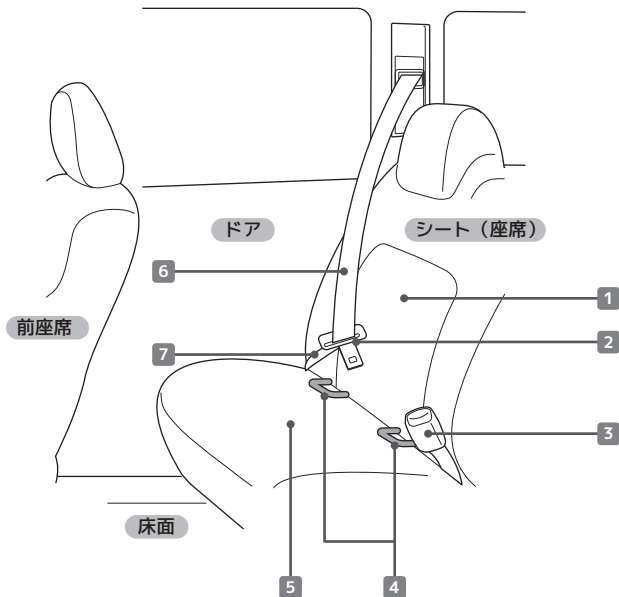
各部の名称



- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ① キャリーハンドル | ⑨ 腰ベルトガイド (左右) |
| ② ベルトアジャスター | ⑩ シェードマグネット |
| ③ アジャスターベルト | ⑪ 取扱説明書コンパートメント |
| ④ ISOFIX コネクター | ⑫ ヘッドサポート |
| ⑤ キャノピー | ⑬ ISOFIX&ベビーカーリリースボタン |
| ⑥ ポストアダプターリリースボタン | ⑭ 肩ベルトガイド |
| ⑦ ハンドルボタン | ⑮ ISOFIX ガイド |
| ⑧ 肩ベルトパッド | |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書においては以下の通りの名称を用います。



- 1 背もたれ
- 2 シートベルトタング
- 3 シートベルトバックル
- 4 ISOFIX 固定バー
- 5 座面
- 6 シートベルト (肩ベルト)
- 7 シートベルト (腰ベルト)

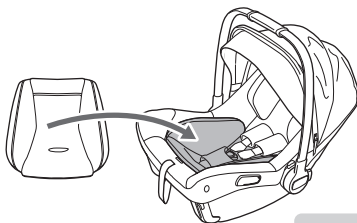
ℳポイント

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

インファントインサートの使用

本製品では、より快適に安全にご使用いただくため、インファントインサートが付属しています。

ご購入時には、インファントインサートは本製品に取り付けられています。



参照 P43-45 >インファントインサート



身長 60cm 程度まで

インファントインサートは、側面からの衝撃に対する保護に効果があります。

身長 60cm 程度まで、または、お子さまが窮屈な状態になるまでは、インファントインサートとインナークッションを取り付けての使用を強くお勧めします。



姿勢が窮屈になったら

お子さまが成長し、インファントインサートを使用すると、お子さまの姿勢が窮屈になってしまう場合には、インファントインサートのインナークッションを取り外して使用することができます。



肩が窮屈になったら

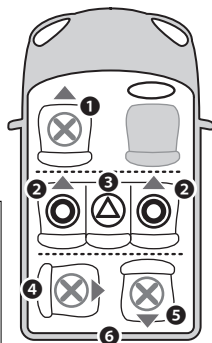
お子さまが成長し、インファントインサートを使用すると、お子さまの肩が窮屈になってしまう場合には、すべてのインファントインサートを取り外して使用してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 . . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可
- ⑥ 3 列目以降の座席 条件付使用可

③および⑥については、3点式シートベルトまたはISOFIX固定バーが装備されている場合は取り付け、使用できる可能性があります。ただしこれらが装備されていても補助席の場合や座席の幅、長さ、シートバックルの位置、ISOFIXの仕様などの条件によっては取り付け、使用ができない場合があります。



上記の座席（シート）すべてに取り付けおよび使用可能とは限りません。

⚠ 危険 上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きにあって、かつその他の条件を満たした座席にのみ取り付けが可能です。

本製品を取り付けできない座席

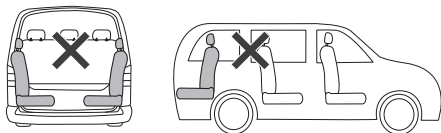
本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、本製品を前向きにして、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席や、バス、電車、船などの座席でも使用できません。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃力によって、チャイルドシートが押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席での使用はお控えください。また、自動車の取扱説明書をあわせて参照して、エアバッグの取り扱いに関してご確認ください。



助手席

本製品は、助手席には取り付けられないでください。

チャイルドシートを使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

チャイルドシートを取り付けると、自動車の安全な運転操作に支障をきたす座席には取り付けられないでください。

座席やドアに干渉する座席

本製品の取り付け使用にあたって、自動車通常の使用において座席の可動部分や、座席の移動、ドアの開閉に干渉する座席には取り付けられないでください。

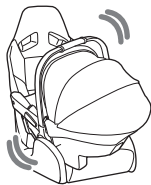


以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

チャイルドシートを安定して設置できない座席

レーシング用のポケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、チャイルドシートを取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物にチャイルドシートが接触する座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けることができません。取り付け作業中に、安定性に不安を感じた場合は、その座席には取り付けないようにしてください。

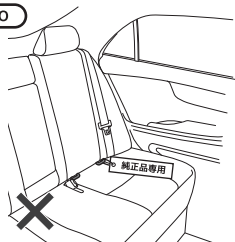
また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどの場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないこともありますのでご注意ください。



製品指定の ISOFIX 固定装置が装備されている座席

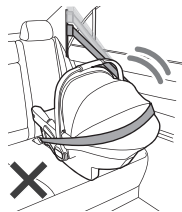
ISO

年式の古い車種に見られる、使用可能なチャイルドシートの機種が指定されている（自動車の取扱説明書において、チャイルドシートのメーカーおよび機種名が指定されている）、ISOFIX 固定装置が装備されている座席では取り付けおよび使用はできません。なお、本製品は一定の条件を満たした場合、3点式シートベルトによる固定も可能です。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。





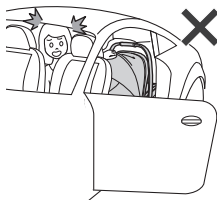
以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、チャイルドシートを使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

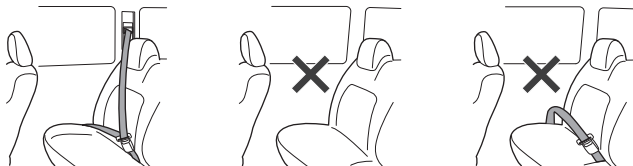
たとえ「i-Size」対応の座席の場合でも、自動車の使用方法によってはチャイルドシートを取り付けることにより、乗員の脱出などに影響が生じる場合がありますので、同様に確認をするようにしてください。



3点式シートベルト以外の座席

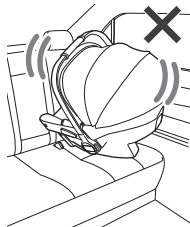
本製品をシートベルトで固定して使用する場合、シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。



その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度などに異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付けおよび使用ができない座席では、使用しないでください。



3 点式シートベルトを固定に使用する場合

本製品は、3点式シートベルト単体またはISOFIXと3点式シートベルトを併用して自動車の座席に固定することができます。

本製品の固定に3点式シートベルトを使用する場合は、単体での使用、ISOFIXとの併用に関わらず、あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

座席の形状に問題がなくバックルの位置などの条件を満たしている場合、近年の国産車においてはほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては正しく固定できない場合があります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常はELRとして機能。 シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	ELRに切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります。シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付けおよび使用できない場合があります。取り付けおよび使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で取り付けおよび使用不可とされている車種、座席では、絶対に取り付けおよび使用をしないでください。



危険

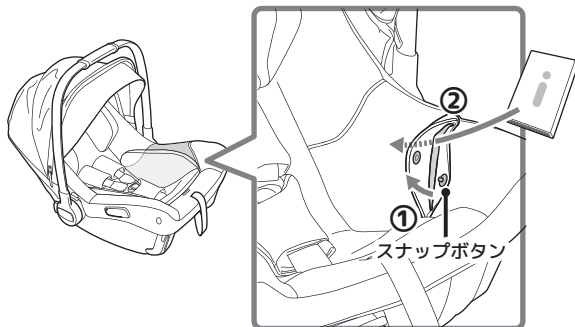
使用できない場合があります。取り付けおよび使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で取り付けおよび使用不可とされている車種、座席では、絶対に取り付けおよび使用をしないでください。

取扱説明書の携行

本取扱説明書は取扱説明書コンパートメントに常時保管して、必要な際にはいつでも参照できるようにしておいてください。

01

本製品を正面から見て右側の側面内側にある①スナップボタンを外して、②開口部から取扱説明書を差し入れてスナップボタンを留めます。



使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をご使用いただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本書や本製品の本体に記載されている指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

自動車の取扱説明書の記載内容を守ること

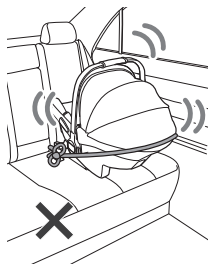
本製品の取り付け、使用にあたっては、本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の該当する箇所を確認して、その指示と注意事項に従ってください。

指定以外の耐荷重保持接点を使用しないこと

本製品の取り付けおよび使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点（ベルトガイド、シートベルトの通し位置や経由点、ISOFIX 使用時の接合部など）以外を使用しないでください。本製品の取り付けおよび使用にあたっては、必ず本書や本製品に表記されている指示に従ってください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は本書および本体で指示する方法でのみ自動車の座席に固定して使用することができます。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを固定に使用してはいけません。また、正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。





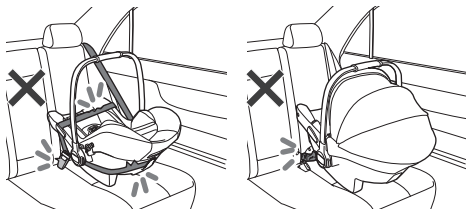
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本製品の取り付けに関わる部位や部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

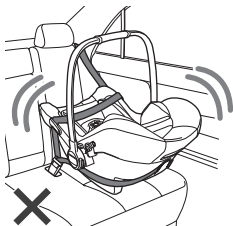
ISOFIX で固定して使用する際には、本製品の ISOFIX コネクタや自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。

また3点式シートベルトで本製品を固定して使用する際には、本製品の腰ベルトガイド、肩ベルトガイド、自動車の3点式シートベルト、シートベルトタンク、シートベルトバックルに異常がある場合は取り付けおよび使用をしないでください。



3点式シートベルトにゆるみ、ねじれがないようにすること

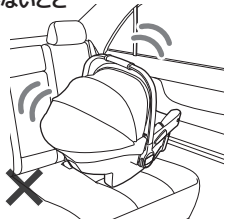
本製品を、3点式シートベルトまたは ISOFIX + 3点式シートベルトで固定して使用する場合は、本書および自動車取扱説明書の指示に従って3点式シートベルトを正しく使用して、ゆるみやねじれがないようにしてください。



指定以外の向きで自動車の座席に取り付けならびに使用しないこと

本製品は自動車の座席への取付方法に関わらず、自動車の進行方向に対して前向きの座席に本製品を後ろ向きにして固定した状態でのみ使用することができます。

本製品を自動車の進行方向に対して横向きや、前向きにして使用することはできません。

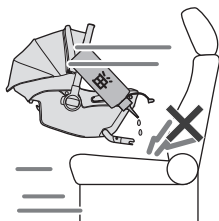




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

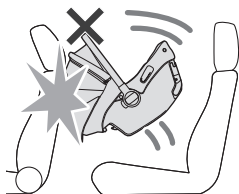
いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的、方法でも、絶対に本製品に注油や潤滑剤を使用してはいけません。



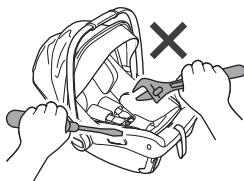
使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも自動車に本製品を乗せる際には、本書の指示に従い自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと衝突や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり他の同乗者に当たるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり、部品などを追加することは禁止されています。また、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートを加工したりしないでください。



常にハーネスとバックルを正しい状態で使用すること

転落を防ぐため、本製品をチャイルドシートとして使用しない場合でも、お子さまを本製品に乗せる場合は、必ずハーネス、股ベルトを正しい状態で使用し、常にバックルを留めておいてください。

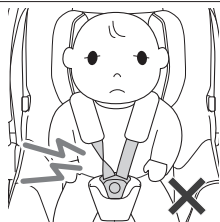




以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを正しく調節し、ハーネスや股ベルトにねじれ、ゆるみがないようにして装着すること

ハーネスは、高さや長さを正しく調節してねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。股ベルトもねじれがないようにしてください。



使用可能な範囲を守ること

本製品が認証を受けた基準により、使用できる条件と本製品の取り付けおよび使用方法と、それに応じた使用可能なお子さまの範囲が定められています。この使用条件を守らないと本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ハーネスを常に正しく装着すること

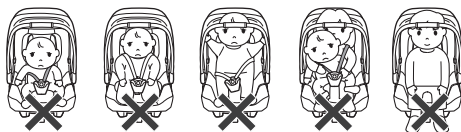
ハーネスは常に適切に調節して使用してください。適宜ハーネスの状態を確認して、適切な状態になっていることを確認してください。

体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまが使用可能な範囲の条件に適していたとしても、本製品に正しくお子さまを乗せた際に頭頂部が上にはみ出してしまう場合や、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、調節してもお子さまの身体を正しく固定できない場合には、本製品が所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。

お子さまを正しく固定して使用すること

本書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまの身体を固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座や中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。





以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

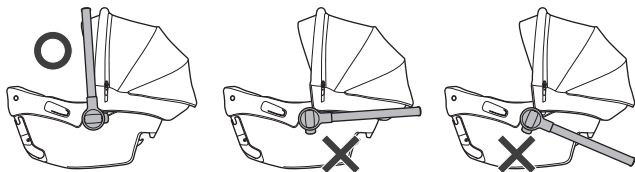
お子さまを乗せたまま高所に置かないこと

本製品が落下して、重大な事故につながるおそれがあります。テーブルの上や椅子の上、階段の近く、自動車の屋根の上、買い物カートなど、転落すると危険な場所にお子さまを乗せたまま本製品を置かないでください。たとえハーネスで正しく固定していたとしても重大な事故につながります。



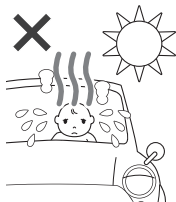
キャリーハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること

お子さまを乗せた状態で本製品を持ち運ぶ場合は、お子さまの身体を正しくハーネスで固定して、キャリーハンドルをキャリーポジションで固定した上で慎重に持ち運んでください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症、脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりすることで、重大な事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートを使用すること

多くの自動車事故が、短い距離、短い時間の移動時に発生しています。どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、必ずチャイルドシートを常に正しく使用するとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。



以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまから目を離さないこと

本製品は、常に保護者の目が届く状態で使用してください。絶対に、お子さまを本製品に乗せたままその場を離れるなどして放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態、様子には常に注意を払ってください。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。

特に、交通事故の場合は軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、使用しないでください。

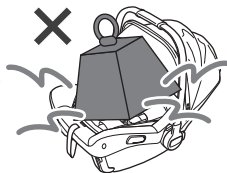
また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



本製品に過度の負担を掛けないこと

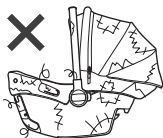
本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車の座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また負担によって本製品が損傷した場合は使用を中止してください。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品や過去の使用履歴や保管状況、使用状況が不明なチャイルドシートは使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もあります。また、再利用による事故を防ぐため使用しなくなった本製品は、「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、**おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣**でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまの身体が確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネスなどを正しく調節してください。



正しく調節できない場合は、お子さまの身体が正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

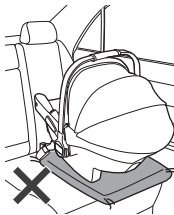
また、衝突や急制動の際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



チャイルドシートの下にクッションや敷物などを敷かないこと

チャイルドシートと座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

チャイルドシートを正しく取り付けられた際に、自動車の座席にくぼみやキズが生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

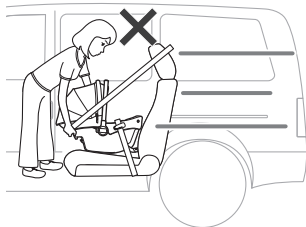
他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

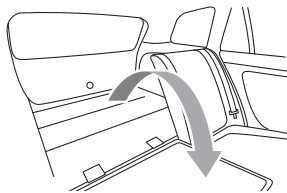
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、ハーネスの装着状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認や操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作や座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に取り付けした自動車の座席のリクライニング操作や座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、取り付け状態を確認してください。特に3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認ください。

指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類や、ソフトパッド類、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やソフトパッド、クッション類以外のものを使用してはいけません。

警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

カバー類を取り外した状態で使用しないこと

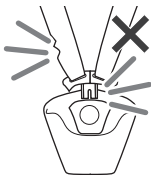
本製品では、お手入れのためにカバー類を取り外すことができます。カバー類は、本製品の安全機能を構成する重要な部品ですので、これらを取り外した状態で使用しないでください。

指定外のインファントインサート、ソフトパッド類を使用しないこと

本製品には、身長 60cm 程度までのお子さまに使用するインファントインサートが付属しています。このインファントインサートは安全基準を満たした部品ですので、指定外のソフトパッドやインサート類を使用したり、本製品付属のインファントインサートを加工したりしないでください。

バックル、ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル、ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



ハーネス以外の方法でお子さまの身体を固定しないこと

お子さまの身体の固定は本製品のハーネスによってのみ行うことができます。お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがありますので、ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また正しく固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、本書で示す目的でのみ使用することができます。ブースターチェアや就寝用ベッドとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

本製品は、当社の指定する NUNA 製のベビーカーに取り付けて使用することができます。その場合、本製品の部位を持ってベビーカー全体を持ち上げないでください。本製品、アダプター、ベビーカーが破損して落下するおそれがあります。

⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

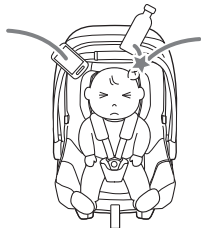
ベビーカーに確実に取り付け使用すること

本製品は、当社の指定する NUNA 製のベビーカーに取り付けて使用することができます。本製品が脱落して重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合には、ベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく確実に取り付け使用してください。

また、本製品は当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損、落下するおそれがあります。

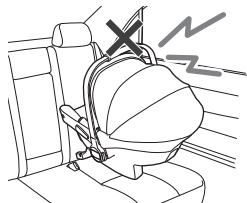
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



自動車のドアや可動式シートの操作に干渉しないように取り付けること

本製品は、自動車のドアや、可動式シートの操作に干渉しない座席に取り付けてください。本製品や自動車 が破損したり、キズが付くおそれがあります。

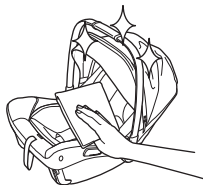


バックル、ハーネスを自動車のドアや座席に挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、座席に挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



⚠警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

お子さまの手足を挟まないようにすること

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を操作する際に、お子さまの手足に注意し、本製品と自動車の座席やベビーカーとの間に手や足、指を挟まないよう注意してください。

⚠注意 以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

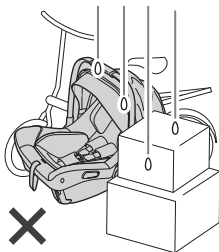
ハーネス、キャンピーなどの部分をつかんで本製品を持ち上げないこと
本製品を持ち上げる際に、ハーネス、キャンピー、ソフトパッド、生地部分などをつかんで持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。本製品を持ち上げる場合はキャリーハンドルまたは本製品本体の樹脂部分をしっかりと持つようにしてください。



ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルを清潔に保つこと
本製品の ISOFIX コネクターや自動車の ISOFIX 固定バー、シートタンク、シートバックルに食べかすや、汚れ、ほこりなどが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天や直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ほこりの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。

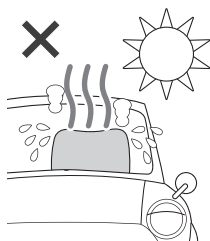




以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ISOFIX ガイドに汚れがないか頻繁に確認すること

汚れ、ほこり、食べかすなどが ISOFIX ガイド内に侵入すると本製品の信頼性が低下するおそれがあります。ISOFIX ガイドは必要に応じて、取り外してお手入れしてください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外すこと

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外して車外の安全な場所で適切に保管してください。

ご購入前、ご使用前にお使いの自動車の座席に正しく本製品を取り付けられるかを確認すること

正しく取り付けできないと、衝突や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮することができません。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適に使用していただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品はベビーベッドではありません。保護者の方の監視のもとで使用するインファントシートです。長時間の睡眠に使用すると赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。本製品は長時間の睡眠には適しませんので、ベビーベッドの代用としては使用しないでください。



以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

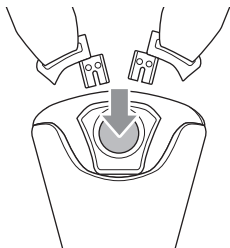
疑問点、ご不明な点は、販売店またはお客様サービスにお問い合わせください
お手入れ、メンテナンスついて疑問がある場合や、部品の交換、補修については、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、慌てず本製品のバックルボタンを押下げてハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。

そして直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX で固定している場合

- ISOFIX 固定バーから本製品を取り外す
- シートベルトカッターで本製品のハーネスを切断する

3点式シートベルトで固定している場合

- シートベルトのバックルを外す
- シートベルトカッターで3点式シートベルトを切断する
- シートベルトカッターで本製品のハーネスを切断する

ISOFIX + 3点式シートベルトで固定している場合

- 上記両方の操作を行う
- シートベルトカッターで本製品のハーネスを切断する

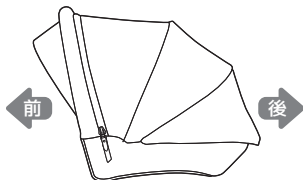
キャンピーの取り付け・取り外し

取り付けかた

ご購入時、キャンピーは取り付けられていません。また、お手入れの際など必要に応じてキャンピーは取り外すこともできます。

01

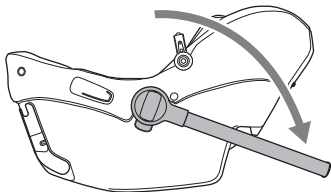
キャンピーには向きがあります。あらかじめキャンピーを開いて前後を確認してください。



02

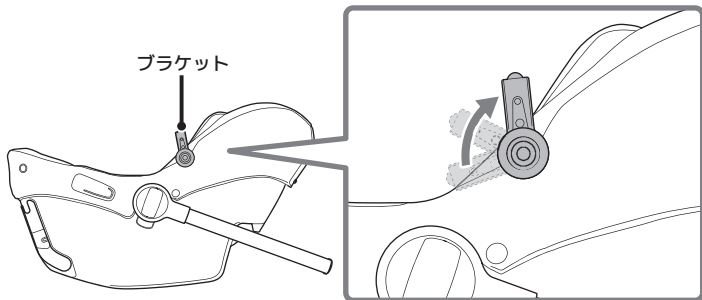
キャリーハンドルを操作してチェアポジションにしておきます。

参照 P46 > キャリーハンドル



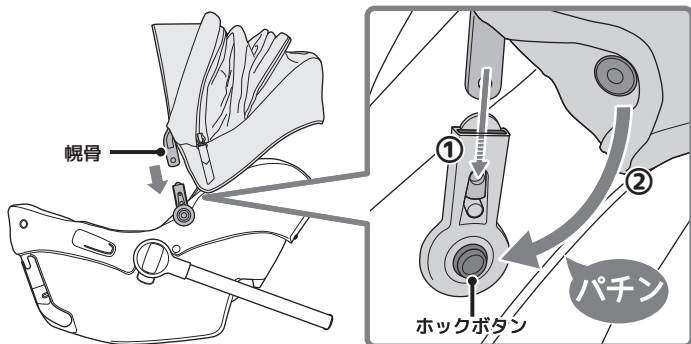
03

左右の幌のブラケットを上向きにしておきます。左右とも同じように上向きにしてください。



04

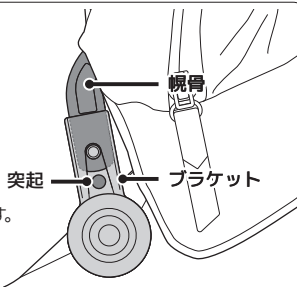
- ①左右の幌骨をそれぞれ固定されるまで左右のブラケットにしっかりと差し込んで、
- ②ホックボタンを留めます。左右とも同じようにしてください。



ポイント

幌骨とブラケットが正しく固定されると右図のような状態になります*。ブラケットの突起はキャンピーを取り外す際に使用します。

※図はホックボタンを固定する前の状態です。

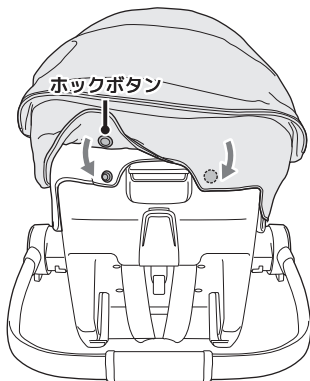


05

幌骨を軽く引き上げて、ブラケットから抜けを確認してください。左右とも同じようにしてください。

06

キャンピー後部左右のホックボタンとシートカバーのホックボタンの位置を合わせて留めます。左右とも留めてください。



07

必要に応じてキャリーハンドルの位置を調節します。

参照 P46 > キャリーハンドル

取り外しかた

キャンピーはお手入れの際など、必要に応じて取り外すことができます。

01

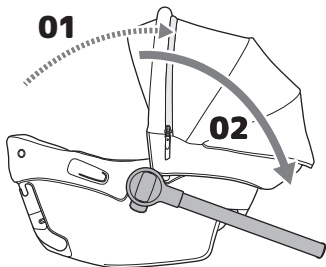
エクストラキャンピーを使用している場合はキャンピー内の所定の場所に収納しておいてください。

参照 P48-50 > エクストラキャンピー (Dream drape™)

02

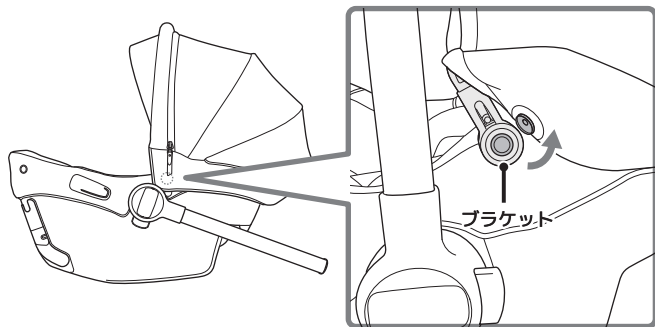
キャリーハンドルを操作してチェアポジションにしておきます。

参照 P46 > キャリーハンドル



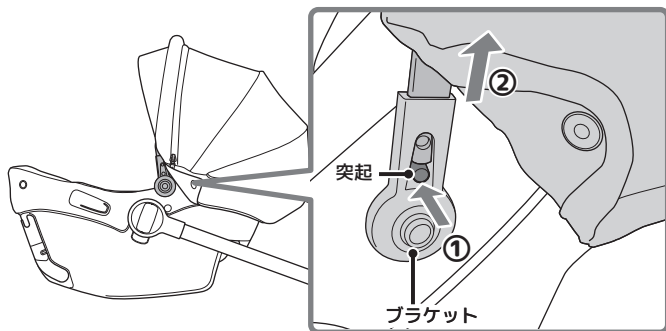
03

左右のブラケットにキャンピーを留めているホックボタンを外します。左右とも外してください。



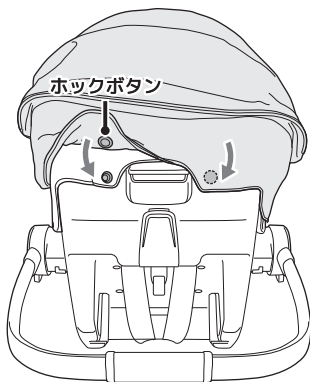
04

①ブラケットの突起（下図参照）を指で押し込んで、②幌骨を上引き上げて抜きます。左右とも同じようにして幌骨をブラケットから引き抜いてください。



05

①キャンピー後部のホックボタン（2カ所）を外して、②キャンピーを取り外します。



06

取り外したキャンピーは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

基本的な使いかた

ここでは本製品の基本的な使いかたについて説明しています。実際に使用する際は、本製品をお子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

不適切な使用は思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付けて、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従って本製品を適切に調節してご使用ください。

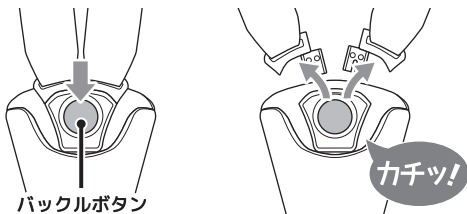
バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。

「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。

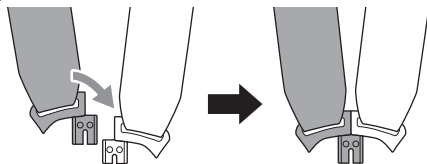


バックルの操作は固めです。バックルは、安全のため操作が固めになっています。
⚠️注意 お子さまの腹部を押さないように、受けバックルを手で握ってバックルボタンを操作してください。

バックルの留めかた

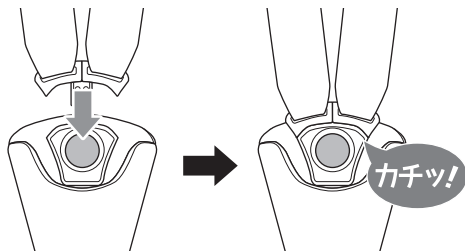
01

右の差込みタングの上に左の差込みタングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込みタングを受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

危険

バックルは確実に留めて使用してください。バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れてお子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合はただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

注意

バックルを清潔に保ってください。バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまの身体をしっかりと固定できるよう、ハーネスの長さを調節します。



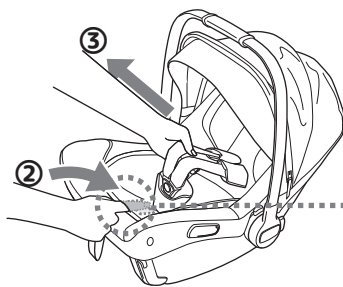
危険 ハーネスの長さは、必ず適切に調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



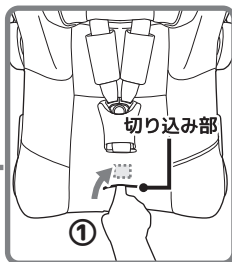
注意 ハーネスは必ず左右同じ長さに調節してください。左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

ゆるめかた

本製品の前端のアジャスターベルトの上側にある①切り込み部に指を差し入れて②ベルトアジャスターを押し込みながら、③左右のハーネスを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。



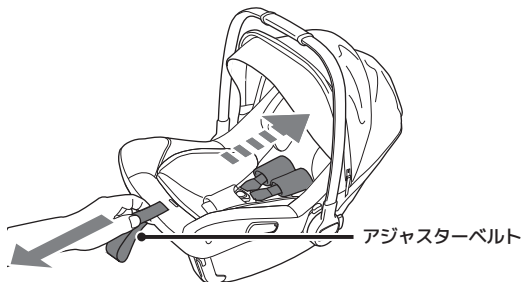
図はインファントインサートを
取り外した状態です。



ポイント ベルトアジャスターは切り込み部の中にあります。布地があるため切り込み部を覗いてもベルトアジャスターを見ることはできません。切り込み部に指を差し入れて操作してください。

締めかた

アジャスターベルトを手前に引くと、ハーネスが締まります。ゆっくり引いてください。

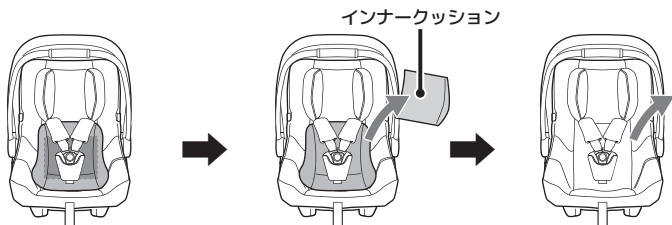


注意 お子さまを乗せた状態でハーネスを締める場合はアジャスターベルトはゆっくりと引いてください。勢いよく強くアジャスターベルトを引くとお子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

インファントインサート

インファントインサートを使用すると、体格が小さい期間のお子さまに対する衝撃吸収力を高める効果があります。

お子さまが窮屈な状態になるまで（身長 60cm 程度まで）は、インファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。ご購入時はインファントインサートにインナークッションが取り付けられています。



身長 60cm 程度までのお子さまには、すべてのインファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。

お子さまが成長して、窮屈な状態になった場合、インファントインサートからインナークッションを取り外して使用することができます。

お子さまが成長して、肩が窮屈な状態になった場合、すべてのインファントインサートを取り外して使用してください。

取り外しかた

01

バックルを外しておきます。

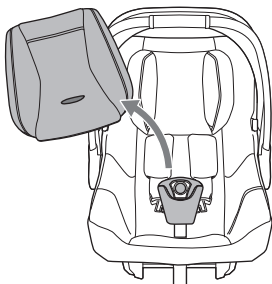
💡ポイント

あらかじめ股ベルトパッドを取り外しておくとお操作がしやすくなります。股ベルトパッドは、操作後に必ず取り付けなおしてください。

参照 P92 > 股ベルトパッド

02

取り外すには、股ベルトパッド（受けバックル）からインファントインサートを抜くようにします。操作は固めですので注意して抜き取ってください。



03

股ベルトパッドを取り外した場合は**必ず取り付けなおしてバックルを留めます。**

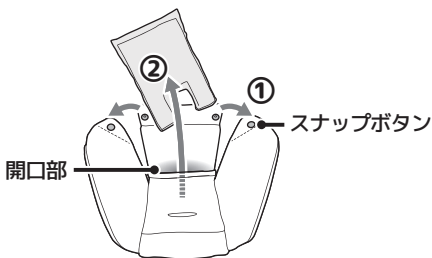
04

取り付けは逆の手順で行います。

インナークッション

01

インファントインサートからインナークッションを取り外すには、インファントインサート裏面左右の①スナップボタンを外して、②開口部からインナークッションを抜き取ります。



02

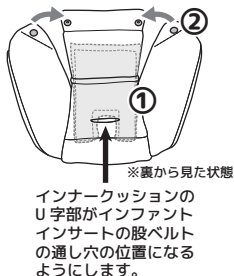
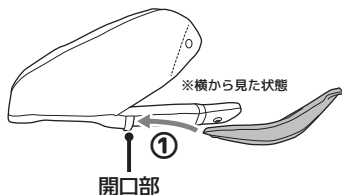
取り外したインナークッションは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管しておいてください。

💡ポイント

インファントインサートのお手入れの際にもインナークッションを取り外します。インナークッションは洗濯時にはネットに入れてください。

03

インナークッションの取り付けは逆の手順で行います。
インナークッションには向きがありますので、下図を参照して①正しい向き
で開口部より差し入れて取り付け、②左右のスナップボタンを留めます。

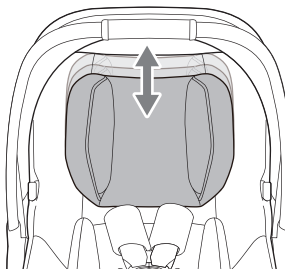


ヘッドサポート

お子さまの着座姿勢、成長に合わせてヘッドレストの位置を上下に調節します。お子さまの頭部がしっかり保護されるように位置を調節してください。

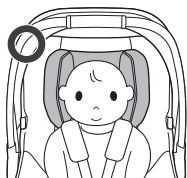
01

ヘッドサポートは上下にスライドさせることができます。



02

お子さまの頭部がしっかり保護されるように位置(高さ)を調節してください。



キャリーハンドル

キャリーハンドルは3つのポジションで使うことができます。

①キャリーポジション

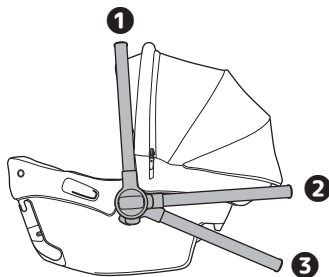
チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーカー用のシートとして使用する場合には、このポジションに設定してください。

②ロックポジション

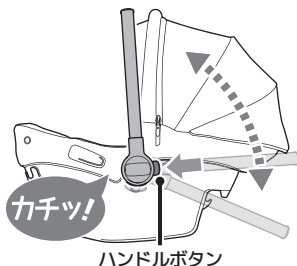
ロックングチェアのように、前後に揺らすことができます。お子さまの様子を見て、使用してください。

③チェアポジション

底面が安定して、ロックングしなくなります。



キャリーハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを両方同時に押しながら、②キャリーハンドルを動かし、任意のポジション（3つのポジションのいずれか）まで動かすとカチッと音がしてキャリーハンドルが固定されます。目的のポジション以外で固定されてしまった場合はもう一度ハンドルボタンを押して操作をやり直してください。



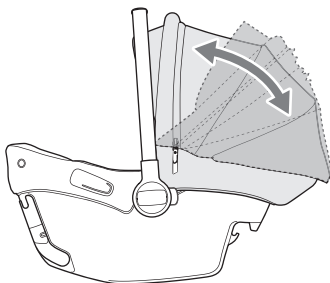
キャンपीー

使いかた

キャンピーは、お子さまに日差しが直接当たらないようにするため開閉することができます。

01

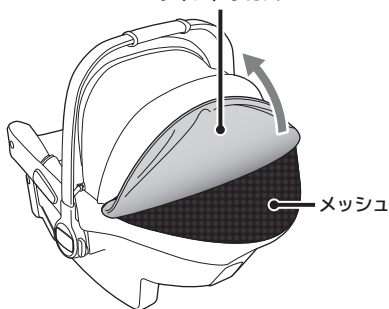
前後に動かして開閉します。お子さまの様子や日光の状態に応じて、調節して使用します。



02

キャンピー後部のウインドウカバーは開閉できます。ウインドウカバーを開くとメッシュ生地になり通気性が高まります。

ウインドウカバー



エクストラキャンピー (Dream drape™)

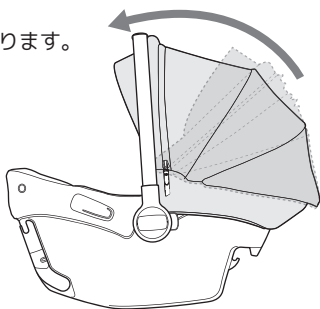
キャンピー先端部には、前方からの日光を遮るエクストラキャンピー (Dream drape™) が内蔵されています。

⚠注意

エクストラキャンピーの着脱のため、エクストラキャンピー先端部および本体先端部左右には、マグネット（磁石）が使用されています。一部の医療機器では影響を与えるおそれがありますので、ご注意ください。また、時計、磁気テープ、磁気カードなど磁気の影響を受けるおそれがあるものは近づけないでください。

01

キャンピーを最後まで開ききります。

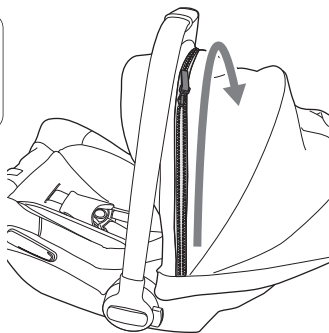


02

キャンピー前端のファスナーを最後まで開きます。

⚠注意

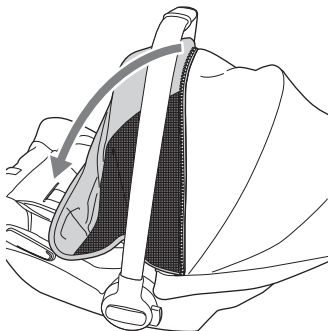
エクストラキャンピーを取り付けるマグネットが使用中に外れるおそれがありますので、ファスナーは最後までしっかりと開ききってください。



💡ポイント エクストラキャンピーは、ファスナーを開いた内側に収納されています。

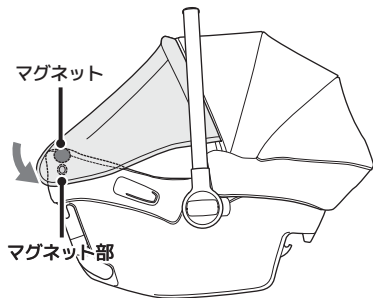
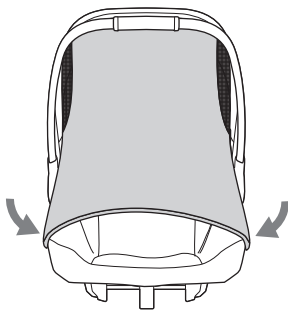
03

ファスナーの開口部から、エクストラ
キャンピーを引き出します。



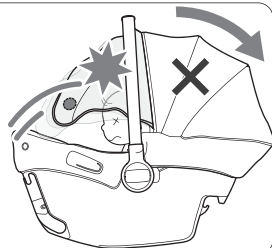
04

エクストラキャンピー先端左右のマグネットをシート先端左右のマグネット
部（○部）にしっかりと合わせてエクストラキャンピーを留めます。



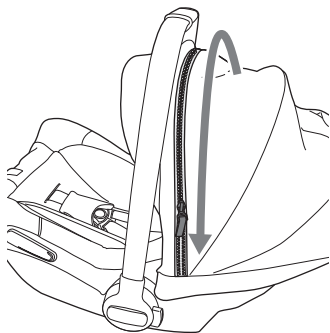
エクストラキャンピーのマグネットと、シート
先端のマグネットはしっかりと合わせてく
ださい。

⚠注意 エクストラキャンピーを使用中は、絶対にキャン
ピーを開かないでください。マグネットが
外れてお子さまに当たり、ケガをする可能性
があります。



05

エクストラキャノピーの取り外しは逆の手順で行います。エクストラキャノピーをファスナーの内側に収納してファスナーをしっかりと閉じてください。



ISOFIXによる固定

取り付けかた

本製品を ISOFIX により固定してチャイルドシートとして使用します。

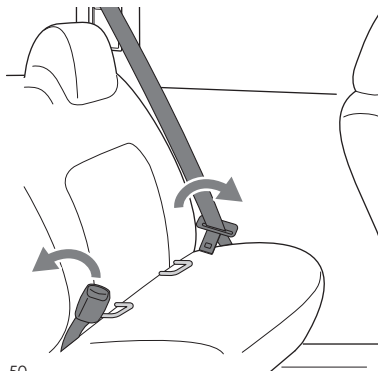
適合車種一覧で取り付け可能とされている車種、座席でのみ使用することができます。適合車種一覧で取付不可とされている車種、座席では使用しないでください。

危険

参照 P7 > 適合車種一覧

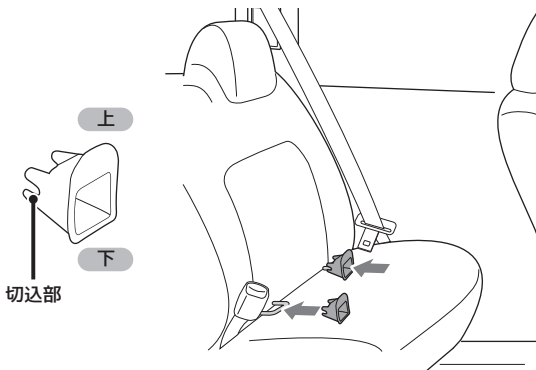
01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を載せないようにしてください。



02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定バーに差し込みます。ISOFIX ガイドの切込部を ISOFIX 固定バーに差し込むようにして取り付けてください。



車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定バーの周囲の座席の生地にキズがつく場合があります。あらかじめご了承ください。

💡ポイント ISOFIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定バーが見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

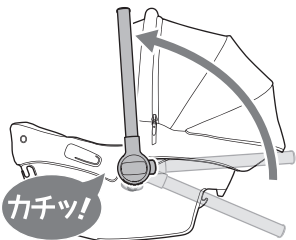
03

キャリアハンドルをキャリアポジションに調節します。

参照 P46 > キャリアハンドル

⚠️危険

キャリアハンドルが干渉するなどして本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品をチャイルドシートとして使用する場合はキャリアハンドルをキャリアポジションに調節してください。

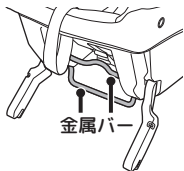


04

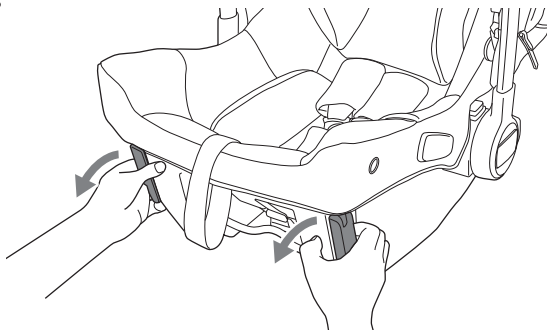
本製品の先端部にある ISOFIX コネクターを両手でしっかりと持って開きます。操作が固めですのでご注意ください。



ISOFIX コネクターの開閉時に本体先端部底面の金属バーも連動して動きます。手や指を挟まないように注意してください。

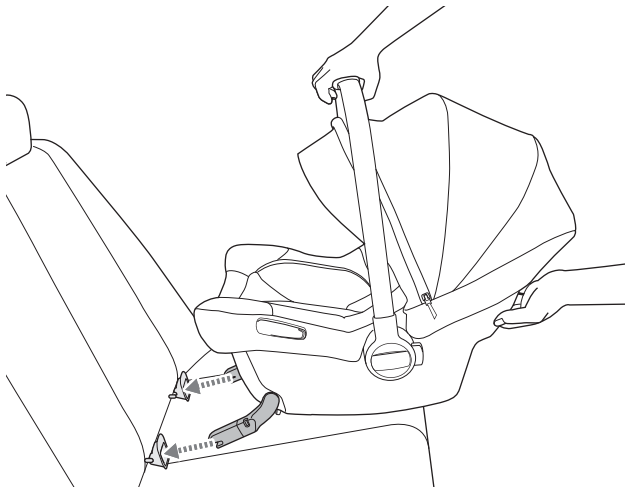


ISOFIX コネクターを開く操作は固めです。本製品を安定した場所に置いて下図のように両手でしっかりと ISOFIX コネクターを持って開くようにしてください。



05

本製品を下図のように両手でしっかりと支えて、水平を保つようにしながら左右の ISOFIX コネクターをそれぞれ左右の ISOFIX ガイドに差し込みます。



お子さまを乗せた状態で着脱を行う際は、お子さまをハーネスで正しく固定した上で水平を保つようにして慎重に操作してください。



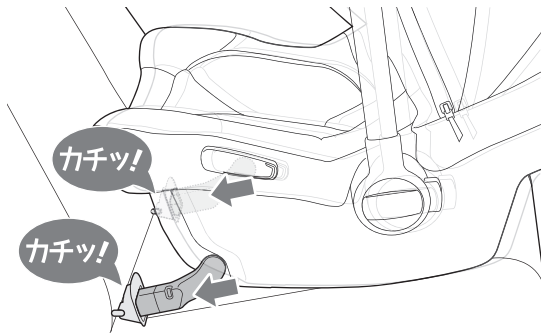
危険

参照 P80-83 > お子さまの乗せかた

参照 P85 > ベビーキャリアとして使用する

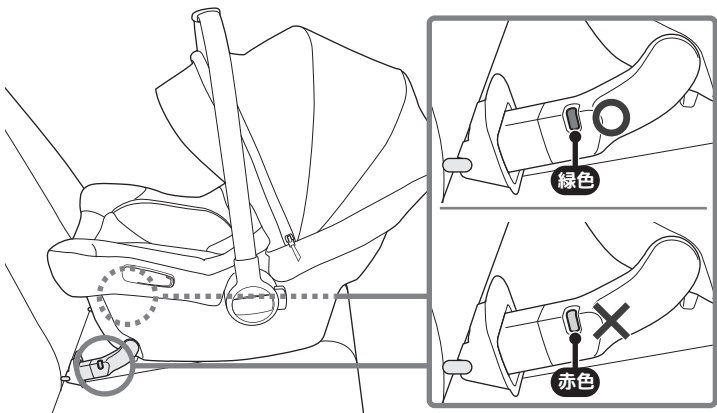
06

左右の ISOFIX コネクタを左右ともカチッと音がして ISOFIX 固定バーに固定されるまで本製品を座席の背もたれ側に押し込んでください。



07

ISOFIX コネクタのインジケータが左右とも緑色になっていることを確認します。必ず左右両方とも確認してください。左右いずれか一方でも緑色になっていない(赤色のまま)場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



インジケータ

ISOFIX コネクターは確実に固定すること。ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定バーに取り付けられていないと、衝突や急制動の際に、チャイルドシートが自動車の座席から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



危険

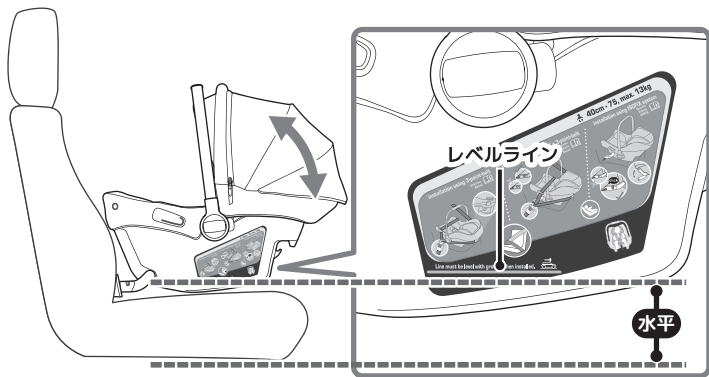
左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一方でも赤色の場合、本製品は自動車の座席に正しく取り付けられていない状態ですので、両方の ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

08

左右の ISOFIX コネクターを手前に引いて ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定バーに固定されていることを確認してください。

09

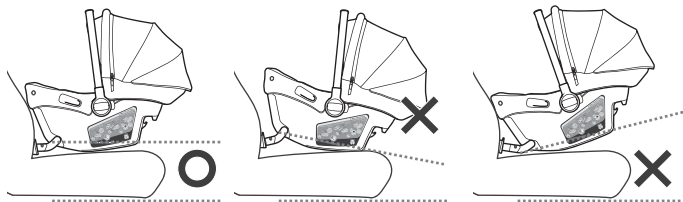
本製品の側面に貼られているシールに表示されているレベルライン（緑色のライン）が地面に対して可能な限り水平になるように本製品の角度を調節してください。



レベルラインが地面に対して水平になるように可能な限り調節してください。角度がつきすぎていると、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出したり過度な負担がかかる事により重大な事故につながるおそれがあります。また通常使用時においても特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。



警告



10

お子さまの体動や自動車の加速や振動などにより本製品の角度がズれる場合があります。その際は都度レベルラインを確認して本製品を調節してください。



警告

本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、本製品の角度に影響を与えることがありますので注意して操作してください。

ポイント

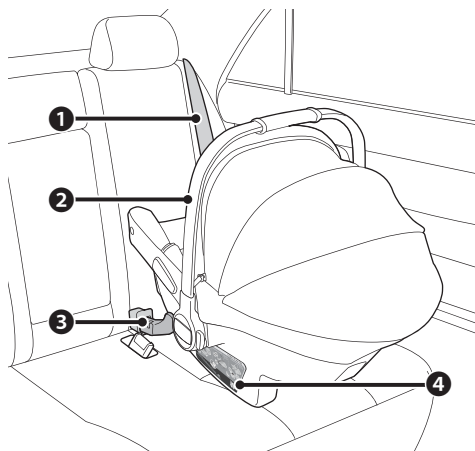
本製品では、ISOFIX で固定した状態に加えて自動車の3点式シートベルトで固定することもできます。3点式シートベルトを併用するとより安定して本製品を固定することができます。

参照 P70-79 > ISOFIX+3点式シートベルトによる固定

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう操作しなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。



チェックリスト

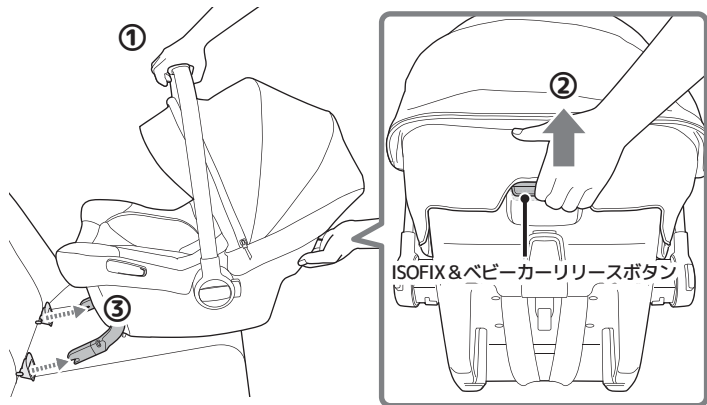
- ① 3点式シートベルトが巻き取られていて、本製品に敷かれていたり干渉したりしていないこと。
- ② キャリーハンドルがキャリーポジションに調節されていること。
- ③ ISOFIX ガイドが左右とも取り付けられていること*。
左右の ISOFIX コネクターが自動車の座席の ISOFIX 固定バーにしっかりと固定されていること。
ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ④ 本製品側面に表記されているレベルラインが地面に対してほぼ水平になっていること。

* 座席の形状、仕様によっては ISOFIX ガイドを取り付けできない場合があります。この場合は ISOFIX ガイドを使用せずに ISOFIX コネクターを直接 ISOFIX 固定バーに取り付けて使用することができますが、ISOFIX コネクター周囲の座席の表皮にキズがつく場合がありますので予めご了承ください。

取り外しかた

01

①本製品をしっかりと保持して、②本製品背面の ISOFIX & ベビーカーリースボタンを引き上げて ISOFIX コネクターのロックを解除して、③ ISOFIX コネクターを引き抜いて本製品を取り外します。

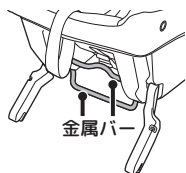


02

本体と ISOFIX コネクターをしっかりと持って、ISOFIX コネクターを閉じます。左右ともカチッと音がして本体に固定されるまでしっかりと閉じてください。

⚠注意

ISOFIX コネクターの開閉時に本体先端部底面の金属バーも連動して動きます。手や指を挟まないように注意してください。

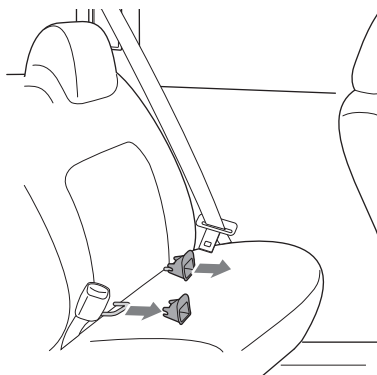


カチッ!

カチッ!

03

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。



⚠注意

本製品を取り外した場合は ISOFIX ガイドを取り外しておいてください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり同乗者がケガをしたりするおそれがあります。ISOFIX ガイドは必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所でなくさないよう大切に保管してください。

3点式シートベルトによる固定

本製品を自動車の3点式シートベルトにより固定します。自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席に取り付けて使用することができます。適合車種一覧をご確認ください。

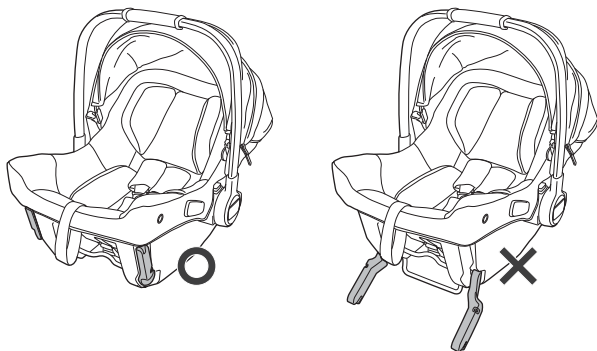
危険 2点式シートベルト（ラップベルト）または3点式シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを束ねて2点式にした状態で取り付けないでください。本書の指示に従って、正しく取り付けてください。

ポイント ここでは3点式シートベルトのみによる固定方法を説明しています。ISOFIXと3点式シートベルトを併用して固定する場合は一部操作が異なりますので、ISOFIXと3点式シートベルトを併用する場合は以下を参照して操作してください。

参照 P70-79 > ISOFIX+3点式シートベルトによる固定

01

ISOFIX コネクターが開いている場合は閉じておきます。



参照 P59 > 取り外しかた > 02

注意 3点式シートベルトのみで固定する場合、ISOFIX コネクターが開いていると正しく取り付けができません。

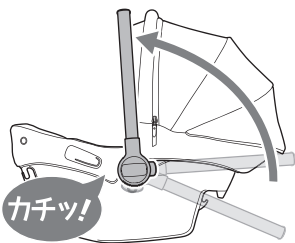
02

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

参照 P46 > キャリーハンドル



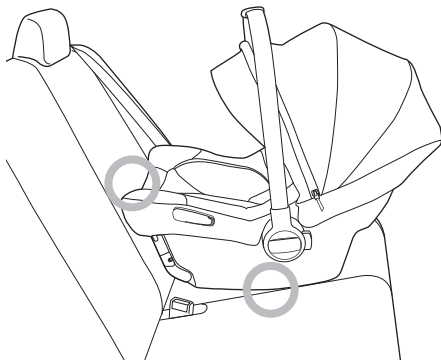
キャリアハンドルが干渉するなどして本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品をチャイルドシートとして使用する場合はキャリアハンドルをキャリアポジションに調節してください。



03

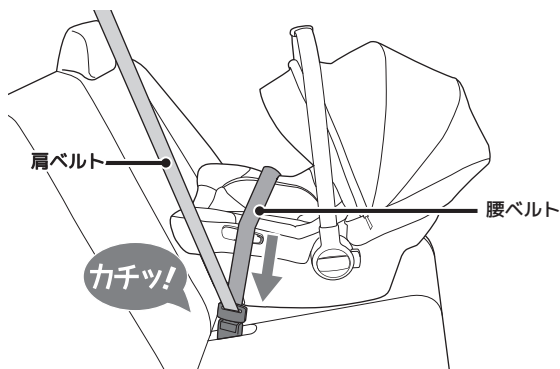
本製品を取り付ける自動車の座席の左右中央に本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の底面が座席の座面に、前端が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。



04

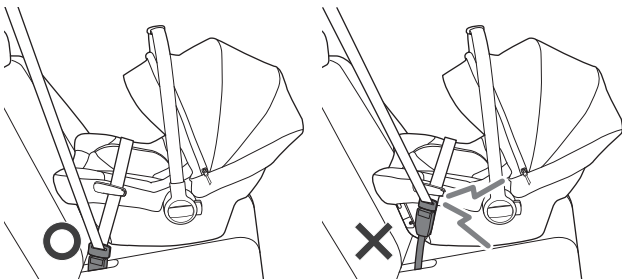
シートベルトを引き出し、ねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めます。腰ベルトが本製品の上を通るようにしてください。カチッと音がして、シートベルトがしっかりと留まっていることを確認します。



シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。ねじれが生じた場合、バックルが留まったままでは修正できませんのでシートベルトのバックルを外してもう一度留めなおしてください。

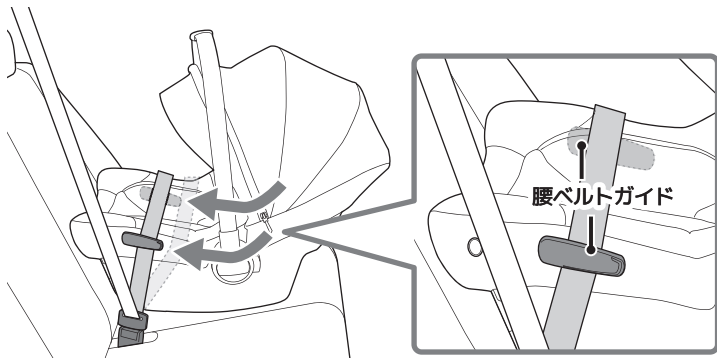
⚠ 危険

バックル(バックルのベルト)が長すぎる座席には取り付けないでください。バックルのベルトが長すぎたり、バックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



05

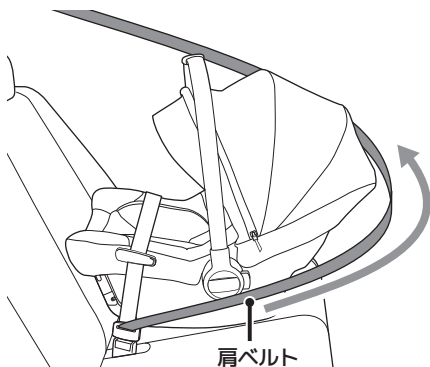
腰ベルトをねじらないように注意しながら、左右の腰ベルトガイドに通します。キャリアハンドル側から滑り込ませるようにして通してください。



腰ベルトは、必ず**左右両方の腰ベルトガイド**を通るようにしてください。腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が座席から外れるおそれがあります。

06

肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、本製品の後ろ側に回します。



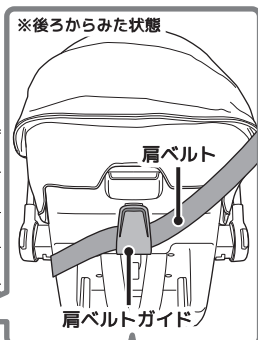
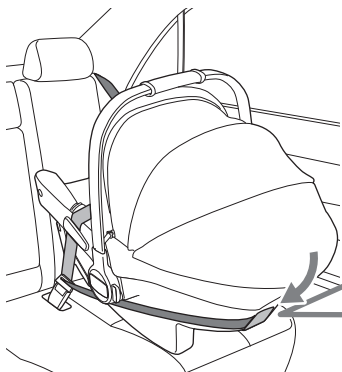
作業中にシートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上シートベルトを引き出すことができず、作業ができなくなります。
このような場合は、**自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。**

💡ポイント

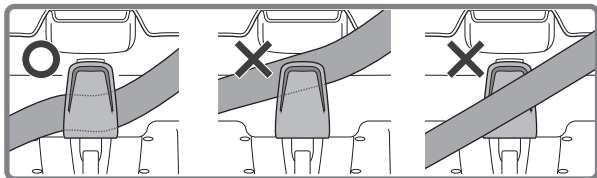
07

肩ベルトを後部の肩ベルトガイドに差し入れます。

肩ベルトが肩ベルトガイドのフックよりも内側（下側）に入るように、しっかりと奥まで差し入れてください。

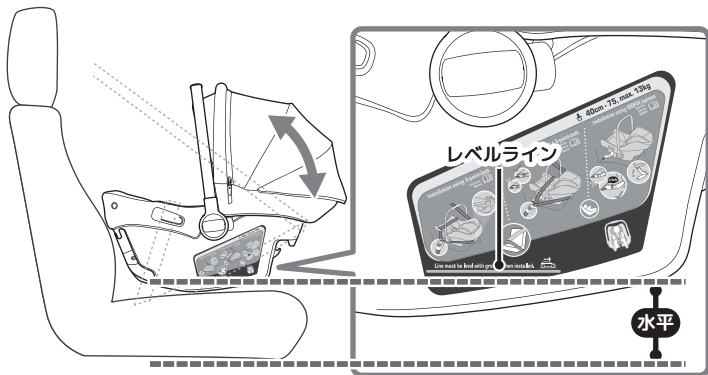


危険
肩ベルトは、図を参照して正しい状態で肩ベルトガイドを通してください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。



08

本製品の側面に貼られているシールに表示されているレベルライン（緑色のライン）が地面に対して水平になるように本製品の角度を調節してください。



09

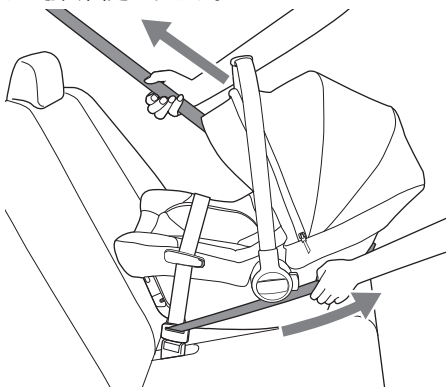
肩ベルトを締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど本製品はより強く固定されます。

⚠危険

安全のためシートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限り強くシートベルトを締め付けて本製品を固定してください。

⚠注意

お子さまを乗せたままで取り付け、取り外し作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら慎重に作業してください。

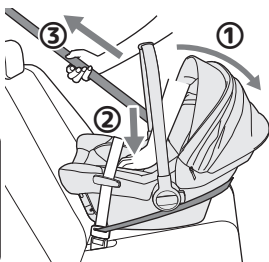


お子さまが乗っていない場合、①キャノピーを閉じて、②片手で本製品の座面部分を強く押し付けながら、③もう一方の手で肩ベルトを強く引くとより強く固定することができます。

ポイント

正しく固定できませんのでシートベルトの腰ベルトは押さえ付けしないでください。

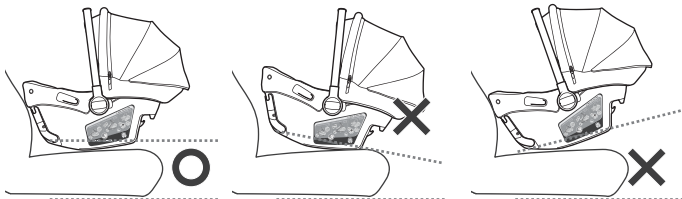
注意 ケガをするおそれがありますので本製品の受けバックルや差込みタングを押さないようにしてください。



10

しっかりと本製品を固定してから、もう一度レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。

角度がつきすぎている場合には、一旦シートベルトをゆるめてからレベルラインが地面に対して水平になるように強く固定してください。

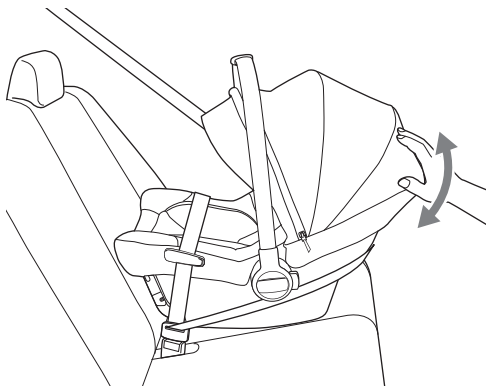


レベルラインが地面に対して水平になるように固定してください。角度がつきすぎていると、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。

警告

11

本製品を前後左右に軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。グラグラした感じがしたり本製品が3cm程度以上動く場合は、取り付けがゆるい状態ですので、レベルラインが地面に対して水平を維持するように注意しながらシートベルトの肩ベルトをさらに締め付けてください。



本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、取り付けがゆるんだり本製品の角度が変わったりすることがありますので注意して操作してください。



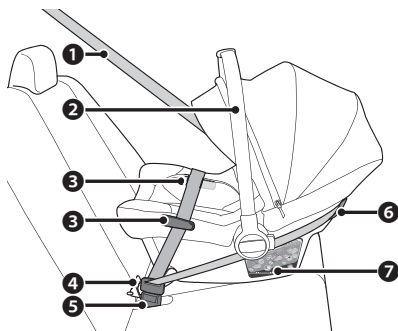
シートベルトをきつく締め付けるほど本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれないことを確認して可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

12

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。

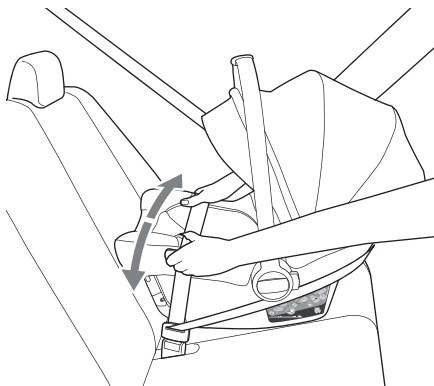


チェックリスト

- ① シートベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② キャリーハンドルがキャリーポジションで固定されていること。
- ③ シートベルトの腰ベルトが、左右両方の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ④ シートベルトの肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ⑤ ISOFIX コネクターが本体側に収納、固定されていること。
- ⑥ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。
- ⑦ レベルラインが地面に対して水平になっていること。

13

取り付け後は、シートベルトが正しい場所を通っていること、ゆるみなく本製品が固定されていること、レベルラインが水平に保たれていることを常に確認して使用してください。



14

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はお子さまが乗っていない場合でもそのままにせず、車外に出すようにしてください。

⚠️ 注意 お子さまを本製品から降ろす際にシートベルトが本製品やお子さまに絡まった
り引っ掛かったりしないよう、シートベルトバックルを外したらシートベルトを巻き取って余長を無くすようにしてください。

ISOFIX + 3点式シートベルトによる固定

取り付けかた

本製品を ISOFIX と 3 点式シートベルトの両方で固定してチャイルドシートとして使用します。ISOFIX と 3 点式シートベルトを併用することにより、安定して本製品が固定されます。

⚠危険

適合車種一覧で取り付け可能とされている車種、座席でのみ使用することができます。適合車種一覧で取付不可とされている車種、座席では使用しないでください。

参照 P7 > 適合車種一覧

01

操作の手順として、まず本製品を ISOFIX により正しく固定してから 3 点式シートベルトでさらに固定します。

以下の操作を行って、あらかじめ本製品を ISOFIX で固定してください。

P50-57 > ISOFIX による固定 > 取り付けかた > 01-11

💡ポイント

ISOFIX で固定してから 3 点式シートベルトで固定します。3 点式シートベルトで先に本製品を固定してしまうと、ISOFIX での固定ができません。

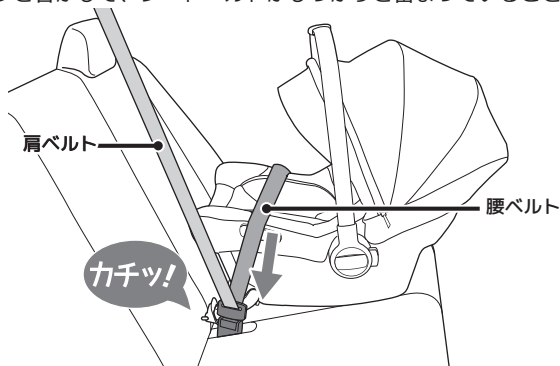
続けてシートベルトによる固定を行います。注意、警告事項に関しては基本的に「3 点式シートベルトによる固定」と同様です。

⚠危険

2 点式シートベルト（ラップベルト）または 3 点式シートベルトの肩ベルトと腰ベルトを束ねて 2 点式にした状態で取り付けしないでください。本書の指示に従って、正しく取り付けてください。

02

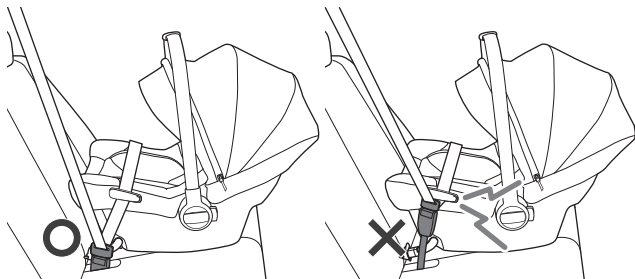
シートベルトを引き出し、ねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めます。腰ベルトが本製品の上を通るようにしてください。カチッと音がして、シートベルトがしっかりと留まっていることを確認します。



シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。ねじれが生じた場合、バックルが留まったままでは修正できませんのでシートベルトのバックルを外してもう一度留めなおしてください。

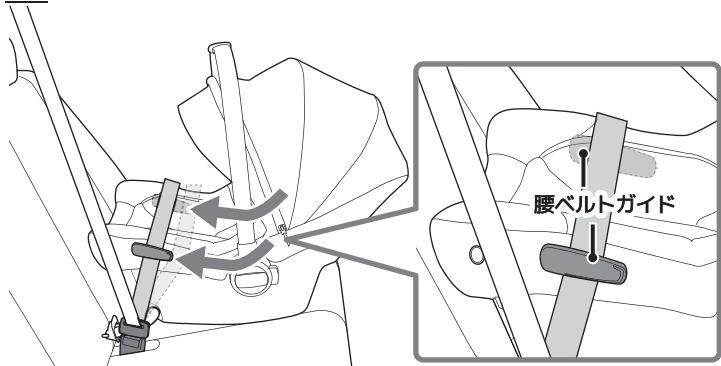
⚠ 危険

バックル(バックルのベルト)が長すぎる座席には取り付けないでください。バックルのベルトが長すぎたり、バックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



03

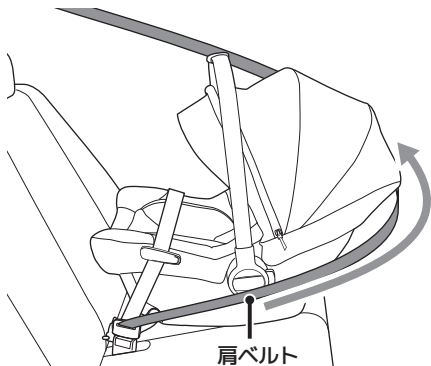
腰ベルトをねじらないように注意しながら、左右の腰ベルトガイドに通します。キャリアハンドル側から滑り込ませるようにして通してください。



腰ベルトは、必ず**左右両方の腰ベルトガイド**を通るようにしてください。腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が座席から外れるおそれがあります。

04

肩ベルトを、ねじらないように注意しながら、本製品の後ろ側に回します。



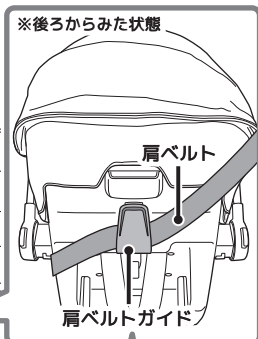
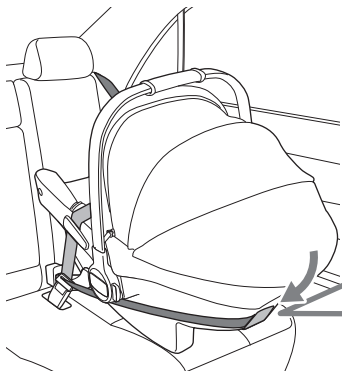
作業中にシートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上シートベルトを引き出すことができず、作業ができなくなります。
このような場合は、**自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。**

💡ポイント

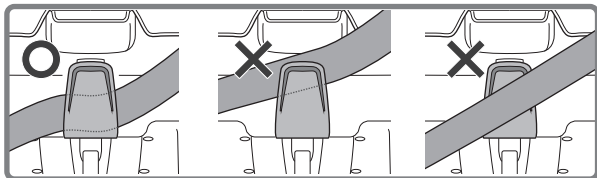
05

肩ベルトを後部の肩ベルトガイドに差し入れます。

肩ベルトが肩ベルトガイドのフックよりも内側（下側）に入るように、しっかりと奥まで差し入れてください。

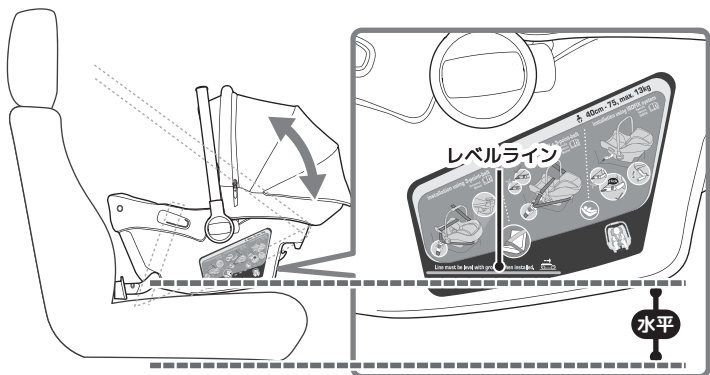


危険
肩ベルトは、図を参照して正しい状態で肩ベルトガイドを通してください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、衝突や急制動の際に本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。



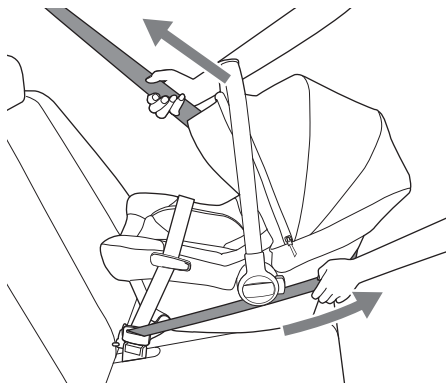
06

本製品の側面に貼られているシールに表示されているレベルライン（緑色のライン）が地面に対して水平になっていることを確認します。



07

肩ベルトを締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど本製品はより安定します。シートベルトにねじれがないことを確認してシートベルトを締め付けてください。



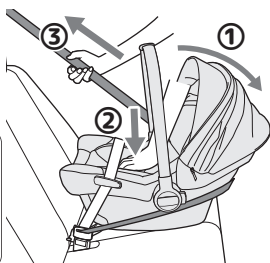
お子さまを乗せたままで作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら慎重に作業してください。

お子さまが乗っていない場合、①キャノピーを閉じて、②片手で本製品の座面部分を強く押し付けながら、③もう一方の手で肩ベルトを強く引くとより強く固定することができます。

ポイント

シートベルトの腰ベルトは押さえ付けしないでください。

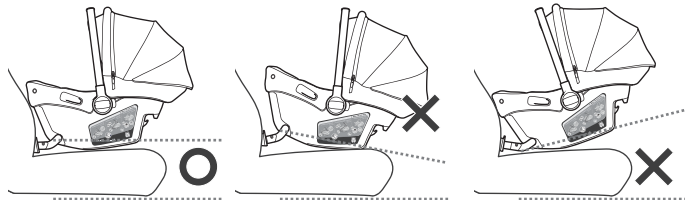
注意 ケガをするおそれがありますので本製品の受けバックルや差込みタンクを押さないようにしてください。



08

しっかりと本製品を固定してから、もう一度レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。

角度がつきすぎている場合には、一旦シートベルトをゆるめてからレベルラインが地面に対して水平になるように強く固定してください。



警告 レベルラインが地面に対して水平になるように固定してください。角度がつきすぎていると、衝突や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いお子さまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。

本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、本製品の角度に影響を与えることがありますので注意して操作してください。

シートベルトをきつく締め付けるほど本製品は安定します。シートベルトにねじれがないことを確認してシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

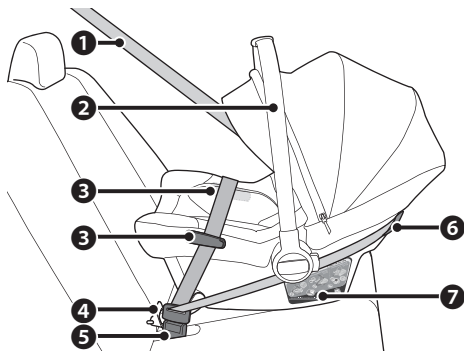
ポイント

また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

09

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。



チェックリスト

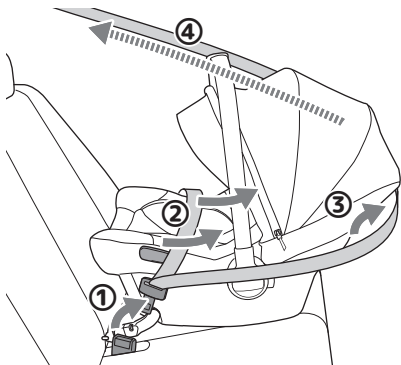
- ① シートベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② キャリーハンドルがキャリーポジションで固定されていること。
- ③ シートベルトの腰ベルトが、左右両方の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ④ ISOFIX ガイドが左右とも取り付けられていること*。
左右の ISOFIX コネクターが自動車の座席の ISOFIX 固定バーにしっかりと固定されていること。
ISOFIX コネクターのインジケーターが左右とも緑色になっていること。
- ⑤ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。
- ⑥ シートベルトの肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ⑦ レベルラインが地面に対して水平になっていること。

※ 座席の形状、仕様によっては ISOFIX ガイドを取り付けできない場合があります。この場合は ISOFIX ガイドを使用せずに ISOFIX コネクターを直接 ISOFIX 固定バーに取り付けて使用することができますが、ISOFIX コネクター周囲の座席の表皮にキズがつく場合がありますので予めご了承ください。

取り外しかた

01

①シートベルトバックルを外し、②腰ベルトを左右の腰ベルトガイドから抜き取って、③肩ベルトを肩ベルトガイドから抜きます。④安全のためにシートベルトを巻き取って余長を無くしておいてください。

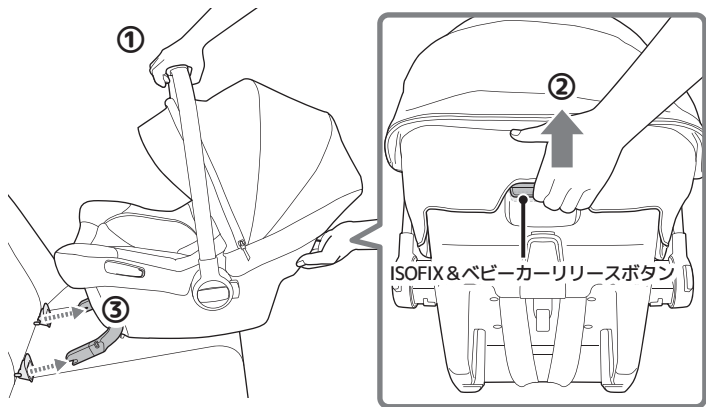


⚠注意 お子さまを本製品から降ろす際にシートベルトが本製品やお子さまに絡まった
り引っ掛かったりしないよう、シートベルトバックルを外したらシートベルトを巻
き取って余長を無くすようにしてください。

💡ポイント 3点式シートベルトを先に取り外します。ISOFIX コネクターを先に取り外すこ
とはできません。

02

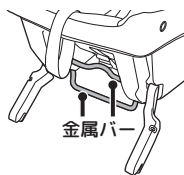
①本製品をしっかりと保持して、②本製品背面の ISOFIX & ベビーカーリリースボタンを引上げて ISOFIX コネクターのロックを解除して、③ ISOFIX コネクターを引き抜いて本製品を取り外します。



03

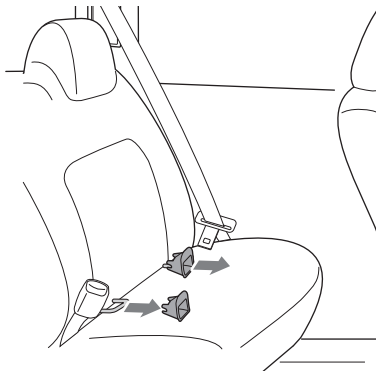
本体と ISOFIX コネクターをしっかりと持って、ISOFIX コネクターを閉じます。左右ともカチッと音がして本体に固定されるまでしっかりと閉じてください。

⚠注意 ISOFIX コネクターの開閉時に本体先端部底面の金属バーも連動して動きます。手や指を挟まないように注意してください。



04

ISOFIX ガイドを取り外します。
ISOFIX ガイドはなくさないよう、
大切に保管してください。



注意

本製品を取り外した場合は ISOFIX ガイドを取り外しておいてください。ISOFIX ガイドが紛失、破損したり同乗者がケガをしたりするおそれがあります。ISOFIX ガイドは必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所でなくさないよう大切に保管してください。

お子さまの乗せかた

01

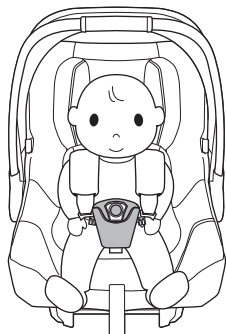
あらかじめハーネスを最後までゆるめて、バックルを外しておきます。

参照 P41 >ゆるめかた

02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座させます。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。

ハーネスは、お子さまの前側に出しておいてください。

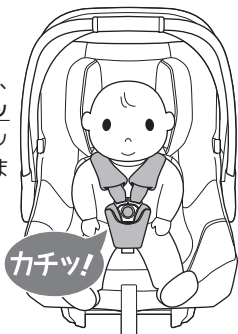


⚠ 警告

肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外した状態では絶対に使用しないでください。衝突や急制動の際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、ハーネスをお子さまの肩の部分に通し肩ベルトパッドがお子さまの肩の部分にあたるようにして、バックルをカチッと音がするようにしっかりと留めます。



ハーネスをねじらないように注意してください。ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際にはハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

⚠ 警告

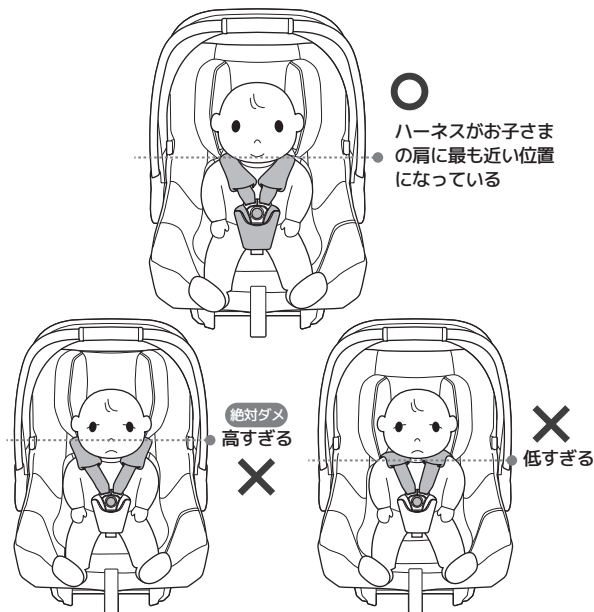
ハーネス（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていないと、お子さまが落下したり衝突や急制動の際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。

本製品の取り付けに3点式シートベルトを用いる場合、ハーネスがシート腰ベルトの上を通った状態でバックルを留めないでください。

04

ハーネスがお子さまの肩に最も近い位置になっていることを確認します。位置が高すぎたり低すぎたりする場合はお子さまの着座位置を微調整するか、またはインファントインサートを調節してハーネスの位置を正しい状態にしてください。

参照 P43-45 >インファントインサート



危険

ハーネスの高さは必ず適切な状態にご使用ください。ハーネスの位置が高すぎたり低すぎたりすると、お子さまの抜け出しや飛び出し、ハーネスが首に絡まる、過剰な衝撃が加わるなどして重大な事故につながるおそれがあります。特にハーネスの高さがお子さまの肩の高さよりも高い位置になっていると、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出す危険性が高くなります。

お子さまが成長して姿勢が窮屈になりハーネスの位置を適切に維持することができなくなった場合は、インファントインサートを調節してハーネスが適切な位置になるようにしてください。

💡ポイント

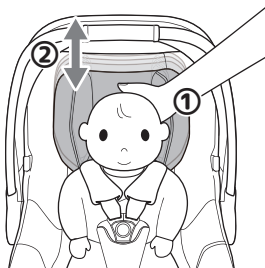
参照 P43-45 >インファントインサート

05

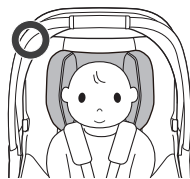
ヘッドサポートが適切な位置になっていない場合はヘッドサポートを調節します。

①片手でお子さまの頭部をしっかりと支えながら、②ヘッドサポートを上下させてお子さまの頭部がしっかりと保護される位置に調節します。

参照 P45 >ヘッドサポート

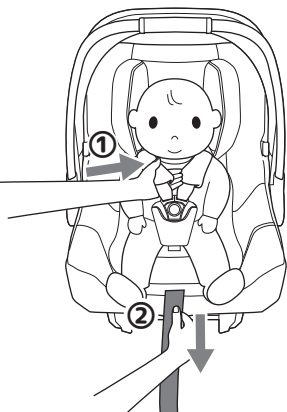


お子さまの頭部がしっかりと保護されるように位置（高さ）を調節してください。



06

ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて締めつけます。差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



⚠危険

ハーネスが強くとまりすぎるおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

♀ポイント

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使ってハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P41 >ゆるめかた

07

お子さまを降ろすには、バックルを外してゆっくりと降ろしてください。

その他の使いかた

本製品は、チャイルドシートとして使用するほか、以下の用途で使用することができます。

いずれの使用方法でも、お子さまの乗せかたや、使用するにあたっての注意事項はチャイルドシートとして使用する場合と同様です。お子さまの身体は正しく調節されたハーネスでしっかりと固定してください。

ベビーキャリア

キャリアハンドルを、キャリアポジションにして使用します。

ロッキングチェア

キャリアハンドルを、ロッキングポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されず、前後に揺らすことができます。

インファントチェア

キャリアハンドルを、チェアポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されるので、お子さまを座らせる簡易な椅子として使用できます。

ベビーカー用のシート

当社が指定するベビーカーのシートとして使用することができます。

準備

01

その他の使いかたの場合は ISOFIX コネクターは使用しません。ISOFIX コネクターが開いている場合はあらかじめ左右ともカチッと音がして本体に固定されるまでしっかりと閉じておいてください。

⚠️ 注意 破損、ケガのおそれがありますので
他の使いかたの場合は ISOFIX コネクターは閉じておいてください。

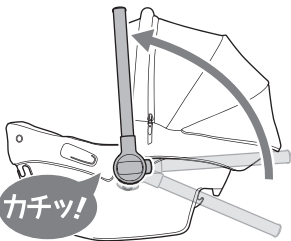


ベビーキャリアとして使用する

01

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

参照 P46 > キャリアハンドル



02

各部を適切に調節して、お子さまを正しく本製品に乗せ、身体をしっかりとハーネスで固定しておきます。

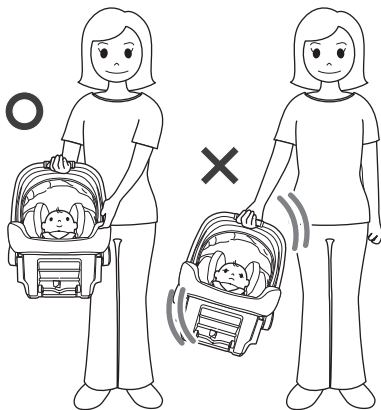
キャリアハンドルがキャリアポジションでしっかりと固定されていることを確認し
警告 してください。
お子さまがハーネスを正しく装着していることを確認してください。

03

地面に対して水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

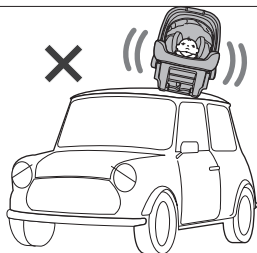
両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平に保つことが難しくなりますので、より注意するようにしてください。



お子さまが落下したり、ケガをするおそれがありますので大きく振ったり揺すったりしないでください。

警告

本製品が落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。高所、不安定な場所、危険のある場所に置かないでください。車の屋根の上に置く、ショッピングカートに乗せる、テーブルや椅子の上に置くなどしてはいけません。



本製品を持ち運ぶ際には水平に保つようにして使用してください。

注意

狭い通路や急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

本製品を持って走らないでください。過剰な振動が加わるとお子さまに悪影響をおよぼすおそれがあり、最悪の場合にはお子さまが落下するおそれがあります。

04

地面に置くときは平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

ポイント

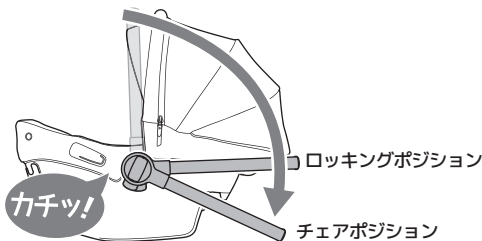
キャリーハンドルがキャリーポジションの場合、本製品の底面は安定せずにロッキングポジションと同様の状態になります。必要に応じてキャリーハンドルをチェアポジションに切り替えてください。

ロッキング・チェアとして使用する

01

キャリーハンドルを切り替えて使用します。

ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジションに、簡易椅子として使用する場合にはチェアポジションにそれぞれ切り替えます。



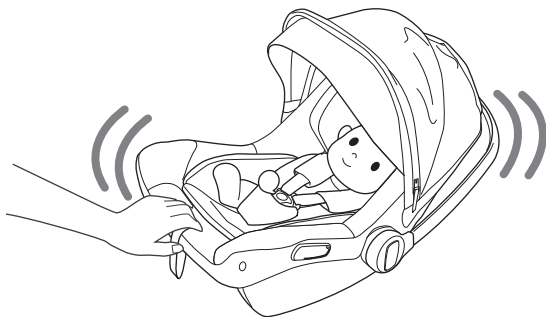
参照 P46 > キャリーハンドル

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。

💡ポイント チェアポジションでは、本製品底面が前後の揺れを止めて安定しますので簡易椅子として使用することができます。

02

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



ブースターチェア（大人用の椅子の上に乗せて使用する）としては使用できません。本製品が落下して重大な事故につながるおそれがあります。

不安定な場所や高所では使用しないでください。本製品が落下したり、挟まったりして重大な事故につながるおそれがあります。また使用していない場合も本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

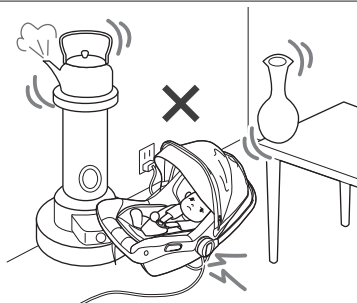
大人の方の監視の元で使用してください。使用中はお子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

本製品は就寝用のベッドとしての使用には適しません。お子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

ロッキングチェアとして使用する場合、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合などに強く揺らしても効果はなくお子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。

警告

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具やコンセント、ドア、窓、階段の近くや落下すると危険な物の近くに本製品を置いて使用しないでください。またお子さまに暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。



注意

お子さまの健康のため長時間にわたる連続使用は避けてください。特にロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様にお子さまの気分が悪くなるおそれがあります。またおう吐、窒息のおそれがありますので授乳直後や食事直後の使用は避けてください。使用中は常に大人の方が付き添ってお子さまの様子を確認するようにしてください。

ベビーカー用のシートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けてベビーカー用のシートとして使用することができます。

使用方法についてはベビーカーの取扱説明書をご参照ください。

当社が「取り付け使用可能」と明示しない限り、他のベビーカーに取り付けて使用してはいけません。対応外のベビーカーに取り付けると本製品が落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

当社のベビーカーでもすべて対応するとは限りませんので、あらかじめご確認ください。

ベビーカーに本製品を取り付けてもベビーカーの乗員数は変わりません。

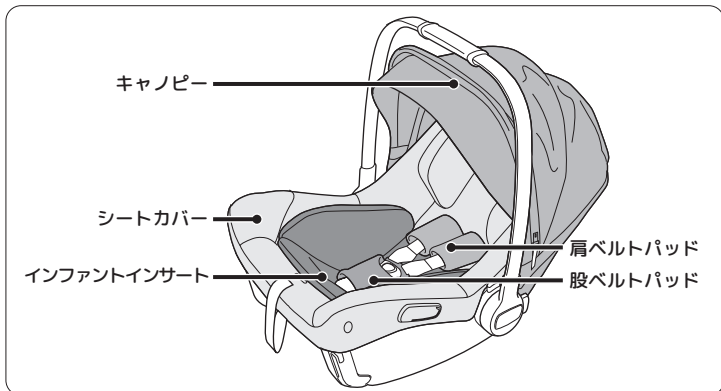
ベビーカーを正しく使用してください。本書とあわせて、必ずベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

お手入れのしかた

カバー類の取り外し、取り付け

本製品は、お手入れのために、以下の縫製品を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外した縫製品を必ず（インファントインサートは必要に応じて）取り付けなおしてください。

※キャノピーは、取り外した状態でも使用することができます。



シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを外して使用しないこと。インファントインサートは、お子さまの成長に応じて取り付け、取り外します。チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドは、安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に使用されている、ウレタンなどの衝撃吸収材、本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。



お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがありますので、お手入れなどのためにシートカバーなどを取り外したら、取り付け直すまでの間は、本体をお子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

シートカバーを取り外すと、本製品の内部機構が見える状態になります。内部の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、シートカバーを取り外した本製品は、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

キャノピー

以下を参照してキャノピーを取り外します。

キャノピーを取り外さないと、シートカバーの取り外しはできません。

参照 P36-38 >取り外しかた

インファントインサート

以下を参照してインファントインサートを取り外します。

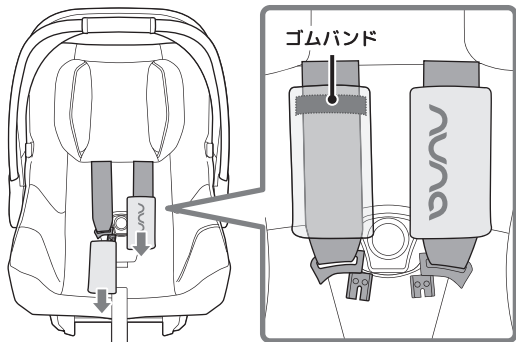
インファントインサートに取り付けられているインナークッションは洗濯できませんので、インファントインサートを洗濯する際には取り外してください。

参照 P43-45 >インファントインサート

肩ベルトパッド

01

バックルを外して肩ベルトパッドの内側にあるゴムバンドからハーネスと差込みタンクを抜いて肩ベルトパッドを取り外します。



02

取り付ける場合は逆の手順で行います。肩ベルトパッド内側のゴムバンドにハーネスを通してください。肩ベルトパッドの向きはご購入時には上図(右)の状態で行われています。

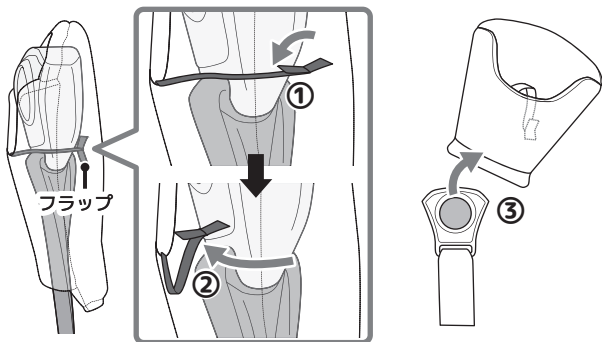
警告 肩ベルトパッドを取り外した状態では絶対に使用しないでください。衝突や急制動の際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

股ベルトパッド

01

股ベルトパッドは、股ベルトパッドに縫い付けてあるフラップ（ベルト）で受けバックル（股ベルト）に固定されています。

①受けバックル裏側にあるフラップをベルトと水平にして、②フラップを、受けバックルと股ベルトの隙間から抜き取ります。フラップ（ベルト）と受けバックルの固定部はきつめになっていますので、抜き取り、取り付け操作の際はご注意ください。③股ベルトパッドを抜き取ります。



ポイント

取り付けは逆の手順で行いますが、フラップを受けバックルに差し込む操作はきつめになっていますので、爪や指に注意して操作してください。

02

取り付ける場合は、逆の手順で行います。

シートカバー

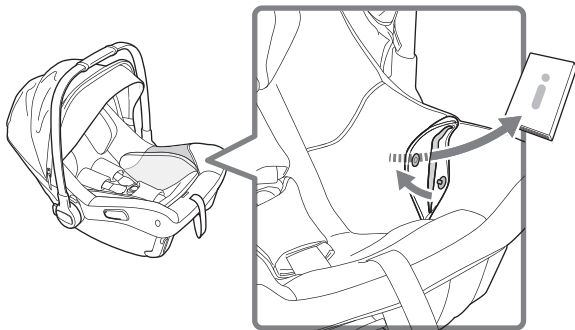
お手入れのためにシートカバーを取り外します。ヘッドサポートはシートカバーと一体になっているため取り外すことができません。

注意

シートカバーの取り外し、取り付けの作業中に本体のウレタンなどの衝撃吸収材にキズを付けないように注意して操作してください。ウレタンなどの衝撃吸収材は取り外すことができません。

01

本書を取扱説明書コンパートメントから抜き取っておきます。



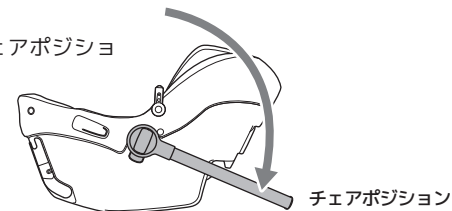
参照 P20 >取扱説明書の携行

02

キャノピー、インファントインサート、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外しておきます。

03

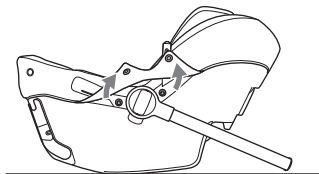
キャリアハンドルを、チェアポジションに切り替えます。



参照 P46 >キャリアハンドル

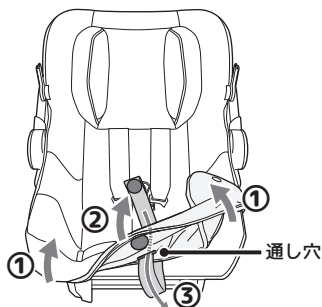
04

側面で本体に留めてある、シートカバーの左右それぞれ2カ所のホックボタン（合計4カ所）を外します。



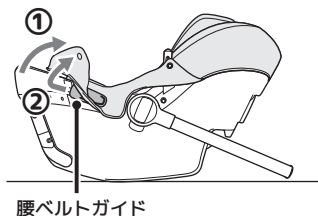
05

①シートカバーの本体前端部をめくり上げて、②シートカバー裏側の面ファスナーに留めてあるアジャスターベルト先端部を外し、③シートカバーの通し穴からアジャスターベルトを抜きます。



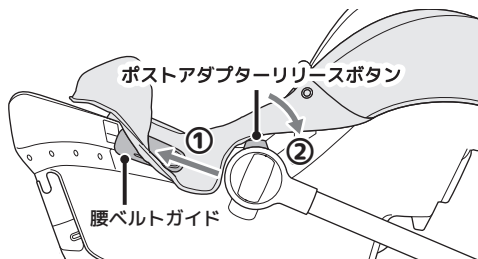
06

①シートカバーを前端からめくり、②シートカバーの通し穴から左右の腰ベルトガイドを抜きます。左右とも抜いてください。



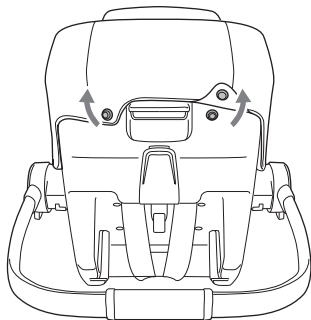
♀ポイント

- ① 取り付け時は、先端部を被せる前に、通し穴に腰ベルトガイドを通してください。通し穴を腰ベルトガイドに通す際には、本体後方(背もたれ側)から通すようにします。本体前方からは通すことができませんのでご注意ください。
- ② シートカバーを被せる際に、ポストアダプターリリースボタンにシートカバーが被らないようにご注意ください。



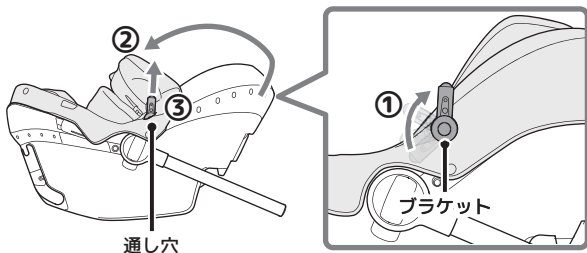
07

本体後部の2か所でシートカバーを留めてあるホックボタンを外します。
2カ所とも外してください。



08

①幌のブラケットが上を向いていない場合は上向きにしてください。②シートカバーを後部から外して前方にめくり、③左右の幌のブラケットをシートカバーのそれぞれの通し穴から抜き取ります。

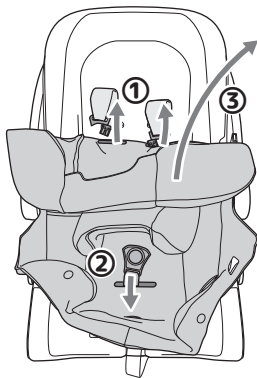


09

①左右のハーネス（差込みタング）と②股ベルト（受けバックル）をそれぞれシートカバーの通し穴から抜き取って、③シートカバーを取り外します。

⚠注意

シートカバーの取り外しの際に引っ掛かった感じがする場合は無理に取り外そうとせず、引っ掛かった箇所がないか確認して引っ掛かりを解消してから取り外してください。

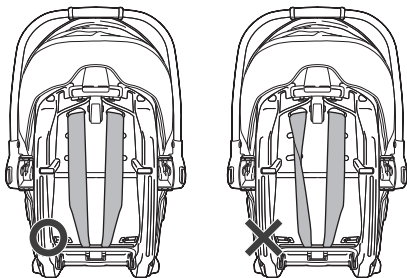


10

シートカバーを取り付ける場合は、逆の手順で行います。

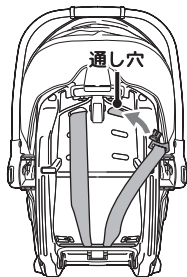
⚠危険

シートカバーを取り付ける際にハーネスをねじらないように注意してください。この際、本製品の表側だけではなく底面側でもねじれが生じていないことを必ず確認してからシートカバーの取り付けを行ってください。



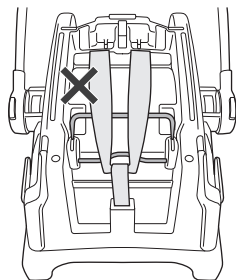
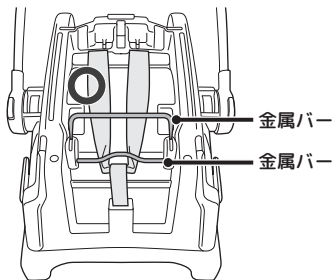
⚠ポイント

お手入れ等の目的を含めて、ハーネス（差込みタンク）を本体の通し穴から背面側（底面側）に抜き取る必要はありません。また抜けにくく設計されていますが万が一抜けてしまった場合は、正しく通し穴から通してください。



⚠危険

ハーネスを通し直す必要が生じた場合、ハーネスの左右を間違わないように、ねじらないように注意して本体底面の金属バーの下を通してください。大変危険ですので絶対に金属バーの上を通さないでください。

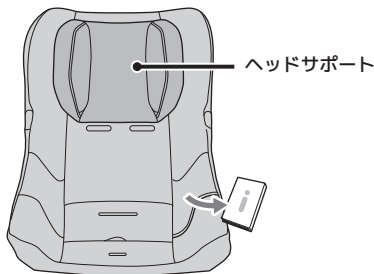


お手入れの方法

カバー類



- ヘッドサポートはシートカバーと一体になっています。取り外しできませんので一緒にお手入れしてください。ヘッドサポートを無理に取り外そうとすると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- お手入れ前に取扱説明書（本書）を、シートカバーの取扱説明書コンパートメントから必ず抜き取ってください。また取扱説明書コンパートメントに他のものが入っていないことを確認してください。



以下のカバー類は洗濯機で洗濯が可能です。
注意事項をお守りいただき、お手入れしてください。

・シートカバー

・インファントインサート

※インナークッションは取り外してください。インナークッションは洗濯できません。

・肩ベルトパッド

・股ベルトパッド

- 液温 30℃以下の水で洗濯機で通常の洗濯が可能です。
- 洗濯ネットに入れて洗濯してください。
- 汚れがひどい場合には、中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合には、しっかりとすすいで、洗剤を完全に落とししてください。
- 軽く絞って、形を整えて陰干ししてください。
- よく乾かしてから取り付けてください。
- 留めることができる面ファスナー、ホックボタンは留めておいてください。

- ・漂白剤は使用できません。
- ・タンブル乾燥処理はできません。
- ・日陰でつり干し乾燥してください。
- ・アイロンは使用しないでください。
- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- ・きつく絞らないでください。



注意 アイロンは使用しないでください。

- ・商業クリーニング、ドライクリーニングはしないでください。
- ・ガソリン、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。
- ・きつく絞らないでください。



シートカバーにはクッション材が多く使用されています(ヘッドサポート部)ので乾きにくくなっております。しっかりと乾かしてから本体に取り付けなおしてください。

キャノピー・インナークッション

インファントインサートから取り外したインナークッション、キャノピーは洗濯することができません。変形、変質するおそれがありますので、水に浸さず、ブラシで汚れを落とすか、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

本体 (ISOFIX コネクター部を除く)

- 本体の樹脂および金属部分は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。
- ウレタン等の衝撃緩衝材は、お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤等は使用しないでください。

⚠ 危険

水を直接かけないでください。サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

市販のウエットタオル (ウエットティッシュ) や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。樹脂部品に影響を与え、ウレタンなどの衝撃吸収材を溶解し、変質、変形させるおそれがあります。

ISOFIX コネクター部

お湯または水を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤等は使用しないでください。

⚠ 危険

油類などの潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

水を直接かけないでください。サビが発生して ISOFIX コネクター部が正常に機能しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

市販のウエットタオル (ウエットティッシュ) や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

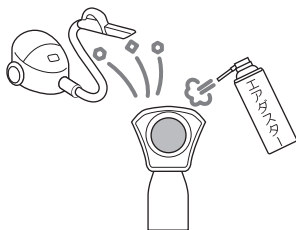
ガソリン、シンナーなどの有機溶剤、その他の溶剤を使用しないでください。これらの溶剤が影響を与えて ISOFIX コネクター部が正常に機能しなくなるおそれがあります。

ハーネス・ベルト類・受けバックル・差込みタンク

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。本体に取り付けたままお手入れしてください。

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふきとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



保管のしかた

長期間使用しない場合は本製品を自動車の座席から取り外してください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外した上で正しく保管してください。

ほこりやゴミがバックル内に入らないように保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

本製品の上に物を載せて保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用ができない状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	nuna pipa urbn (ヌナピパーバン)		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・ お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(nuna日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シシート等を貼り付けてください



Find out more at **nunababy.com**